

令和4年度石川県保険者協議会 (第1回)

日 時 令和4年7月19日(火) 14時～
場 所 石川県地場産業振興センター本館2階
第2研修室

次 第

1 開 会

会長あいさつ

2 協議事項

- (1) 令和3年度石川県保険者協議会業務執行状況及び歳入歳出決算について
- (2) 令和4年度石川県保険者協議会事業計画及び歳入歳出予算について

3 報告事項

令和4年度作業部会への付託事項について

4 その他

石川県循環器対策推進計画について

石川県保険者協議会出席者名簿

任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日

区 分	所 属	委 員		備 考
		職 名	氏 名	
健康保険組合連合会 支 部 等	北 國 新 聞 組 合 健 康 保 険 組 合	常 務 理 事	菊 地 晃	随 行 健康保険組合連合会 石川連合会 事務局長 畑 伸彦
	澁 谷 工 業 組 合 健 康 保 険 組 合	常 務 理 事	西 村 聡	
	北 陸 情 報 産 業 組 合 健 康 保 険 組 合	常 務 理 事	梨 野 昌 美 (欠)	
全国健康保険協会	全 国 健 康 保 険 協 会 支 部 石 川 支 部	支 部 長	横 本 篤	
	全 国 健 康 保 険 協 会 支 部 石 川 支 部	企 画 総 務 部 長	井 上 智 恵 美	
	全 国 健 康 保 険 協 会 支 部 石 川 支 部	企 画 総 務 グ ル ー プ 長	長 谷 川 一 予	
共 済 組 合 保 険	警 察 共 済 組 合 支 部 石 川 県 支 部	事 務 長	中 川 一 雅	新 任
国 民 健 康 保 険	金 福 社 沢 健 康 市 局 加 市 民 賀 健 康 市 部	医 療 保 険 課 長	松 本 尚 人	
	か ほ く 社 健 康 福 祉 市 部	保 険 年 金 課 長	北 村 茂 樹 (欠)	代 理 企 画 官 吉 田 真 由 子
	穴 水 町	保 険 医 療 課 長	北 川 直 紀	新 任
	石 川 県 医 師 会 国 民 健 康 保 険 組 合	住 民 課 長	谷 口 天 洋	新 任
	石 川 県 医 師 会 国 民 健 康 保 険 組 合	事 務 長	南 善 史	
後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合	石 川 県 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合	事 務 局 長	小 崎 隆 司	
石 川 県	石 川 県 福 祉 部	健 康 福 祉 部 次 長 兼 健 康 推 進 課 長	木 村 慎 吾	新 任
		医 療 対 策 課 長	高 橋 健 司	随 行 国 保 財 政 運 営 GL (主 幹) 吉 川 将 生
国 民 健 康 保 険 団 体 連 合 会	石 川 県 国 民 健 康 保 険 団 体 連 合 会	常 務 理 事	大 畠 秀 信	

《 オブザーバー 》

所 属	職 名	氏 名	
石 川 県 医 師 会	理 事	西 村 泰 行	
石 川 県 歯 科 医 師 会	副 会 長	千 田 恭 恵	
石 川 県 薬 剤 師 会	副 会 長	藤 原 秀 範	
石 川 県 看 護 協 会	会 長	小 藤 幹 恵	
石 川 県 栄 養 士 会	会 長	田 中 弘 美	

《 事務局 》

所 属	職 名	氏 名	
石 川 県 健 康 福 祉 部	医 療 対 策 課 主 任 主 事	新 保 容 世	
	健 康 推 進 課 生 活 習 慣 病 対 策 GL (課 長 補 佐)	酒 井 徳 子	
石 川 県 国 民 健 康 保 険 団 体 連 合 会	事 務 局 長	小 嶋 一 彦	
	健 康 づ くり 支 援 課 長	茅 山 加 奈 江	
	健 康 づ くり 支 援 課 長 担 当 課	荒 木 早 苗	
	健 康 づ くり 支 援 課 長 担 当 課	奥 野 弘 之	
	健 康 づ くり 支 援 課 主 事	髭 三 咲	

石川県保険者協議会設置運営規程

(目的)

第1条 石川県保険者協議会（以下「協議会」という。）は、石川県内の保険者（高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）第7条第2項に規定する保険者及び都道府県後期高齢者医療広域連合をいう。以下同じ。）の加入者に係る健康づくりの推進に当たり、保険者間の問題意識の共有や、それに基づく取組の推進等を図るとともに、石川県医療費適正化計画の策定または変更、同計画の実施についての石川県への協力、石川県医療計画の策定または変更にあたっての意見提出等を行うことを目的とする。

(事業)

第2条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事項について協議を行うものとする。

- (1) 特定健康診査等の実施、高齢者医療制度の運営等に関する保険者その他の関係者間の連絡調整
- (2) 保険者に対する必要な助言または援助
- (3) 医療に要する費用等に関する情報についての調査及び分析
- (4) 医療費適正化計画の策定及び変更に関し、保険者協議会において行った調査及び分析の結果等に基づく意見提出
- (5) 医療費適正化計画の実施についての石川県への協力
- (6) 医療計画の策定変更に関し、保険者協議会において行った調査及び分析の結果等に基づく意見提出

(構成)

第3条 協議会は、石川県内の次の区分からの推薦による委員をもって構成する。

- | | |
|---|----|
| (1) 石川県を代表する者 | 2名 |
| (2) 健康保険組合連合会支部等を代表する者 | 3名 |
| (3) 全国健康保険協会石川支部を代表する者 | 3名 |
| (4) 国民健康保険の保険者たる市町及び石川県医師国民健康保険組合を代表する者 | 5名 |
| (5) 国民健康保険団体連合会を代表する者 | 1名 |
| (6) 共済組合支部を代表する者 | 1名 |
| (7) 後期高齢者医療広域連合を代表する者 | 1名 |

2 協議会は、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会及び栄養士会を代表する者、学識経験者並びに企業及び大学等の関係者等の参画及び助言を求めることができる。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合は、第3条に掲げている区分の組織が推薦書を提出し、推薦された委員が従前の職務を行い、任期は前任者の残任期間とする。

(運営)

第5条 協議会には、会長1名、副会長2名及び監事1名を置くこととし、委員の中から互選する。

2 会長は協議会を代表し、会務を総括する。

3 会長に事故あるときは、副会長がその職務を代理する。

4 監事は会計監査及び業務執行状況を監査し、定期的に監査報告を行う。

5 会長、副会長、監事が任期途中で退職又は辞任した場合は、互選に関わらず後任者が従前の職務を行うものとする。また、任期が満了した場合は、後任者が就任するまでは、任期が満了したと同時に退職した者以外については、前任者が従前の職務を行うものとする。退職者の職務については、会長又は副会長がその職務を行うものとする。

(会議)

第6条 協議会は、必要に応じて会長が召集し、会長が座長となる。

(作業部会の設置)

第7条 協議会には、第2条の具体的実施の検討を行うため、作業部会を設置する。

2 作業部会は、協議会から付託された事項について調査審議し、その結果を協議会に報告する。

3 前項の定めるもののほか、作業部会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(議事)

第8条 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

2 協議会の議事は、委員のうち会議に出席したものの過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(費用の負担)

第9条 第2条に掲げる事業実施に要する費用については、協議会を構成する関係者が応分に負担する。

(事務局)

第10条 協議会の事務は、石川県及び石川県国民健康保険団体連合会が処理する。

2 事務局に関し必要事項は、会長が別に定める。

(その他)

第11条 この規程に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規程は、平成17年6月13日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年6月11日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成20年7月7日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年10月30日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成27年6月18日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

2 第9条に定める経費については、国から助成を受けられる間については、当該助成額を控除して得た額とする。

附 則

1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。

2 第9条に定める経費については、国から受ける助成額を控除して得た額とする。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成31年1月29日から施行する。ただし、第3条第1項の改正規定及び次項の規定は、同年4月1日から適用する。

2 石川県保険者協議会設置運営規程の一部を改正する規程（平成28年2月29日決定）の附則の一部を次のように改正する。

附則第2項中「助成を受けられる間については、当該」を「受ける」に改める。

石川県保険者協議会作業部会運営要領

(目的)

第1条 石川県保険者協議会規程第7条の規定に基づき、石川県保険者協議会作業部会（以下「作業部会」という）を設置し、石川県保険者協議会（以下「協議会」という。）から付託された事項について調査・審議することにより、協議会の円滑な運営に寄与することを目的とする。

(任務)

第2条 作業部会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について検討を行う。

- (1) 石川県内における医療費の調査、分析、評価に関すること。
- (2) 各保険者の保健事業の共同実施に関すること。
- (3) 各保険者の独自保健事業についての調査及び情報交換に関すること。
- (4) その他目的達成に必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 作業部会は、石川県内の次の区分からの推薦による委員若干名をもって構成する。

- (1) 健康保険組合関係者
- (2) 全国健康保険協会関係者
- (3) 国民健康保険関係者
- (4) 共済組合関係者
- (5) 後期高齢者医療広域連合関係者
- (6) 石川県関係者

2 作業部会は、必要に応じて関係者の参画及び助言を求めることができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合は、第3条に掲げている区分の組織が推薦書を提出し、推薦された委員が従前の職務を行い、任期は前任者の残任期間とする。

(運営)

第5条 作業部会には、部会長1名、副部会長1名を置くこととし、部会委員の中から互選する。

- 2 会議は、必要に応じて協議会会長が召集し、部会長がその座長となる。
- 3 部会長に事故あるときは、副部会長がその職務を代理する。

4 部会長、副部会長が任期途中で退職又は辞任した場合は、互選に関わらず後任者が従前の職務を行うものとする。また、任期が満了した場合は、後任者が就任するまでは、任期が満了したと同時に退職した者以外については、前任者が従前の職務を行うものとする。

(費用の負担)

第6条 作業部会の運営等に要する経費については、作業部会を構成する関係者が応分に負担する。

(事務の処理)

第7条 作業部会の事務は、石川県及び石川県国民健康保険団体連合会が処理する。

(その他)

第8条 この要領に定めるもののほか、作業部会の運営に必要な事項は、協議会会長が別に定める。

附 則

この要領は、平成17年6月13日から施行する。

附 則

この要領は、平成19年6月11日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成20年7月7日から施行する。

附 則

この要領は、平成20年10月30日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成31年1月29日から施行する。

石川県保険者協議会作業部会委員名簿

※令和4年4月28日現在

任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日

区 分	所 属	職 名	氏 名	備 考
健康保険組合連合会 支 部 等	北 陸 電 力 健康保険組合石川支部	常 務 理 事	浜 崎 秀 樹	新任
	北國FHD健康保険組合	常 務 理 事	嶋 正 巳	
	けいじゅ健康保険組合	常 務 理 事	松 田 久 良	新任
全国健康保険協会	全 国 健 康 保 険 協 会 部 石 川 支 部	企 画 総 務 グ ル ー プ 長 補 佐	木 村 健 次	
	全 国 健 康 保 険 協 会 部 石 川 支 部	保 健 グ ル ー プ 長 補 佐	坂 井 雅 和	
共 済 組 合 保 険	警 察 共 済 組 合 部 石 川 県 支 部	事 務 長 補 佐	辻 森 修	新任
国 民 健 康 保 険	金 沢 市 局 福 祉 健 康 部	医 療 保 険 課 係 長	加 納 宏 宣	
	加 賀 市 部 民 健 康 部	保 険 年 金 課 リ ー ダ ー	西 谷 い く え	
	か ほ く 市 部 健 康 福 祉 部	保 険 医 療 課 課 長 補 佐	濱 田 行 章	
	穴 水 町	住 民 課 係 長	平 砂 圭 悟	新任
	石 川 県 医 師 会 国 民 健 康 保 険 組 合	総 務 係 長	山 本 裕 美 子	
後 期 高 齢 者 会 医 療 広 域 連 合	石 川 県 後 期 高 齢 者 会 医 療 広 域 連 合	業 務 課 健 康 推 進 室 室 長	寺 西 衣 姫	
石 川 県	石 川 県 福 祉 部 健 康 福 祉 部	健 康 推 進 課 主 任 技 師	田 中 郁 衣	新任
国 民 健 康 保 険 会 団 体 連 合 会	石 川 県 国 民 健 康 保 険 会 団 体 連 合 会	健 康 づ く り 支 援 課 長	茅 山 加 奈 江	

協議事項

(1) 令和3年度石川県保険者協議会業務執行状況及び歳入歳出決算について

- | | |
|------------------------|-----|
| ①令和3年度石川県保険者協議会業務執行状況 | P 1 |
| ②令和3年度石川県保険者協議会歳入歳出決算書 | P 5 |
| ③監査報告 | P 8 |

(2) 令和4年度石川県保険者協議会事業計画及び歳入歳出予算について

- | | |
|-----------------------|------|
| ①令和4年度石川県保険者協議会事業計画 | P 9 |
| ②令和4年度石川県保険者協議会歳入歳出予算 | P 10 |

令和3年度 石川県保険者協議会業務執行状況

業務内容	開催日 開催場所
<p>1 石川県保険者協議会</p> <p>第1回</p> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和2年度石川県保険者協議会業務執行状況及び歳入歳出決算について (2) 令和3年度石川県保険者協議会事業計画及び歳入歳出予算について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度作業部会への付託事項について <ul style="list-style-type: none"> ①特定健診受診啓発ポスターの作成について ②重症化予防による生活習慣病対策推進モデル事業について ③石川県内における健診データ等の分析について 	<p>令和3年7月19日 書面開催</p>
<p>第2回</p> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度石川県保険者協議会事業計画（案）及び負担金（概算）について (2) その他 石川県保険者協議会事務局より情報提供 特定健診・特定保健指導に係る情報提供について <p style="text-align: right;">出席者 13名</p>	<p>令和3年10月28日 金沢港クルーズ ターミナル</p>
<p>第3回</p> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度石川県保険者協議会事業費の応分の負担（精算案）について (2) 令和4年度石川県保険者協議会歳入歳出予算（案）について (3) 令和4年度石川県保険者協議会事業費の応分の負担（案）について (4) 令和4年度作業部会への付託事項（案）について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度特定健診・特定保健指導従事者研修会の実施状況について (2) 石川県循環器対策推進計画（案）について (3) 石川県医療計画の中間評価・見直し（案）について 	<p>令和4年3月8日 書面開催</p>
<p>2 石川県保険者協議会作業部会</p> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 石川県保険者協議会作業部会部会長、副部会長の選出について (2) 作業部会への付託事項について <ul style="list-style-type: none"> ①特定健診受診啓発ポスターの作成について ②重症化予防による生活習慣病対策推進モデル事業について ③石川県内における健診データ等の分析について 	<p>令和3年4月13日 書面開催</p>

業務内容			開催日 開催場所
3 令和2年度石川県保険者協議会会計監査 石川県保険者協議会設置運営規程第5条第4項に基づき、業務執行状況及び歳入歳出決算について監事による会計監査を実施。			令和3年6月21日 石川県国保連合会
4 特定健診・特定保健指導従事者研修会 初任者研修			令和3年12月21日 Web（オンライン） 開催
No.	内容	講師	
1	食生活に関する保健指導のポイント	石川県栄養士会／食事の教室くでん 主宰 管理栄養士 櫻井 千佳 氏	
2	生活習慣病の基礎知識	芳珠記念病院 内科次長 白倉 幹哉 氏	
3	(1) 特定健診・特定保健指導の基本的事項 (2) 石川県の課題	石川県健康福祉部健康推進課	
4	たばこと生活習慣病の関連と禁煙支援のポイント	公立小松大学 保健医療学部 看護学科 教授 中島 素子 氏	
5	歯の健康に関する保健指導のポイント	石川県歯科医師会 公衆衛生部 理事 江尻 重文 氏	
6	保健指導の実際	七尾市 健康推進課 主任 島崎 恵里 氏 石川県国民健康保険団体連合会 健康づくり支援課 課長 茅山 加奈江 氏	
			出席者 55名
実践者研修			令和4年1月23日 Web（オンライン） 開催
No.	内容	講師	
1	脳血管疾患の治療と予防について (脳卒中ガイドライン2021を踏まえて)	石川県立中央病院 血管病センター長・脳神経外科診療部長 内山 尚之氏	
2	保健指導の実際 ・取組状況について ・事例発表（困難事例について）	北國銀行健康保険組合 保健師 北村 喜美氏 石川県国民健康保険団体連合会 健康づくり支援課 課長 茅山 加奈江氏	
3	保健指導の評価	金沢医科大学 客員教授 中川 秀昭氏	
			出席者 51名

業務内容	開催日 開催場所
<p>5 データヘルス計画学習会</p> <p>(1) 事業の目的 特定健康診査・保健指導等の各医療保険者の取り組み状況やデータ、課題等について情報交換を行うとともに、地域の共通課題の確認、取り組みの方向性を学ぶなど、データヘルスの推進、保険者間の具体的な連携を進め医療費適正化に資することを目的とする。</p> <p>(2) 事業内容 ①各医療保険者の実態に合った計画策定に基づき、PDCAサイクルに沿ったデータ分析 ②各医療保険者の実態把握 ③課題解決に向けた情報交換</p> <p>(3) 講師 (第1回) 一般社団法人日本医療安全調査機構 専務理事(元厚生労働省健康局長) 矢島 鉄也 氏 (第2回) 保健活動を考える自主的研究会 保健師 門田 しず子 氏</p> <p style="text-align: right;">参加延人数 159名</p>	<p>(第1回) 令和3年7月16日 石川県地場産業振興センター</p> <p>(第2回) 令和3年11月2日 石川県地場産業振興センター</p>
<p>6 重症化予防による生活習慣病対策推進モデル事業</p> <p>(1) 事業の目的 標準的な健診・保健指導プログラムに基づく、効果的な個別指導が推進できる人材を育成し、医療費の適正化に資することを目的とする。</p> <p>(2) 事業内容 ①モデル保険者の選定 ②重症化予防対象者の選定 ③モデル保険者の保健指導の現場に講師が同行し、保健指導の実際を学ぶ</p> <p>(3) モデル保険者 北陸鉄道健康保険組合、能美市</p> <p>(4) 講師 保健活動を考える自主的研究会 門田 しず子 氏</p>	<p>令和3年11月17日～ 11月18日 北陸鉄道健康保険組合、能美市</p>

業務内容	開催日 開催場所
<p>7 集合契約に係る関係者打合せ会</p> <p>第1回</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 『令和4年度集合契約に係るスケジュール』等について</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 『令和4年度特定健診・特定保健指導集合契約』の契約単価等対応方針について</p> <p>(2) 『令和4年度集団健診』の契約単価等の対応方針について</p> <p>(3) 今後の予定について</p> <p>(4) その他</p> <p style="text-align: right;">出席者 19名</p>	<p>令和3年11月12日 石川県消費生活支援センター</p>
<p>第2回（石川県医師会との打合せ会）</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 令和4年度 特定健康診査集合契約について</p> <p>(2) その他</p> <p style="text-align: right;">出席者 15名</p>	<p>令和3年12月14日 石川県医師会・日赤共同ビル</p>
<p>8 特定健診受診啓発のためのポスター作成及び配布</p> <p>(1) 作成部数 1,350部</p> <p>(2) 配布先 石川県内医療保険者、石川県医師会、金沢市医師会、郡市医師会、石川県薬剤師会、石川県商工会連合会、石川県スーパーマーケット連絡協議会、石川県公衆浴場業生活衛生同業組合</p>	<p>令和3年6月～ 令和4年3月</p>
<p>9 石川県保険者協議会ホームページでの各種情報提供</p> <p>掲載情報</p> <p>(1) 保険者協議会の役割</p> <p>(2) 提供資料</p> <p>①広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率向上ポスター ・安心できる医療制度の維持のために県民の皆様へお願い（チラシ） <p>②参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病の治療を放置した働き盛りの今 ・糖尿病性腎症重症化予防の推進に向けた広報事業 ・いしかわ糖尿病性腎症重症化予防プログラム ・特定健診・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き ・標準的な健診・保健指導プログラム ・特定健康診査及び特定保健指導の記録の写しの保険者間の情報照会及び提供について <p>(3) 特定健診・特定保健指導について（特定健診・特定保健指導契約情報等）</p>	<p>通年</p>

令和3年度石川県保険者協議会歳入歳出決算書

歳入

款	項	予算現額	収入済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円
1 国庫支出金		951,000	951,000	0
	1 国庫補助金	951,000	951,000	0
2 負担金		986,000	699,705	△ 286,295
	1 負担金	986,000	699,705	△ 286,295
3 繰越金		342,000	341,957	△ 43
	1 繰越金	342,000	341,957	△ 43
4 諸収入		2,000	20	△ 1,980
	1 諸収入	2,000	20	△ 1,980
5 借入金		1,000	0	△ 1,000
	1 借入金	1,000	0	△ 1,000
歳入合計		2,282,000	1,992,682	△ 289,318

歳出

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
		円	円	円	円
1 総務費		360,000	258,219	101,781	101,781
	1 総務管理費	360,000	258,219	101,781	101,781
2 事業費		1,579,000	1,130,486	448,514	448,514
	1 事業費	1,579,000	1,130,486	448,514	448,514
3 諸支出金		341,000	341,000	0	0
	1 諸支出金	341,000	341,000	0	0
4 予備費		2,000	0	2,000	2,000
	1 予備費	2,000	0	2,000	2,000
歳出合計		2,282,000	1,729,705	552,295	552,295

次年度繰越金について

$$\begin{aligned}
 & \text{収入済額} & - & \text{支出済額} & = & \text{次年度繰越金} \\
 & 1,992,682\text{円} & - & 1,729,705\text{円} & = & 262,977\text{円} \\
 & & & & & \text{国庫返還金} \\
 & & & & & 262,000\text{円}
 \end{aligned}$$

負担金について

$$\begin{aligned}
 & \text{歳出合計} \text{ ①} & - & \text{前年度国庫返還金} \text{ ②} & = & \text{総事業経費} \text{ ③} \\
 & 1,729,705\text{円} \text{ ①} & - & 341,000\text{円} \text{ ②} & = & 1,388,705\text{円} \text{ ③} \\
 & \text{総事業経費} \text{ ③} & - & \text{国庫補助金} & = & \text{負担金} \text{ ④} \\
 & 1,388,705\text{円} \text{ ③} & - & 689,000\text{円} & = & 699,705\text{円} \text{ ④}
 \end{aligned}$$

事項別明細書

(歳入)

款	項	目	予 算 現 額				調定額	収入済額	備 考			
			当初予算額	補正予算額	計	節						
						区 分				金 額		
1 国庫支出金			円 951,000	円 0	円 951,000		円 951,000	円 951,000	高齢者医療制度円滑運営事業補助金			
	1 国庫補助金		951,000	0	951,000		951,000	951,000				
		1 高齢者医療制度円滑運営事業補助金		951,000	0	951,000		951,000		951,000		
			1 高齢者医療制度円滑運営				951,000	951,000		951,000		
2 負担金			986,000	0	986,000		699,705	699,705	保険者等負担金 健康保険組合 27,217円 全国健康保険協会 335,144円 共済組合 41,586円 国民健康保険 166,042円 石川県後期高齢者医療広域連合 129,716円			
	1 負担金		986,000	0	986,000		699,705	699,705				
		1 負担金		986,000	0	986,000		699,705		699,705		
			1 負担金				986,000	699,705		699,705		
3 繰越金			342,000	0	342,000		341,957	341,957	前年度繰越金			
	1 繰越金		342,000	0	342,000		341,957	341,957				
		1 繰越金		342,000	0	342,000		341,957		341,957		
			1 繰越金				342,000	341,957		341,957		
4 諸収入			2,000	0	2,000		20	20	歳計現金預金利子			
	1 諸収入		2,000	0	2,000		20	20				
		1 預金利子		1,000	0	1,000		20		20		
			1 預金利子					1,000		20	20	
				1 雑入		1,000	0	1,000			0	0
					1 雑入					1,000	0	0
5 借入金			1,000	0	1,000		0	0				
	1 借入金		1,000	0	1,000		0	0				
		1 借入金		1,000	0	1,000		0	0			
			1 借入金				1,000	0	0			
歳入合計			2,282,000	0	2,282,000		1,992,682	1,992,682				

(歳出)

款	項	目	予 算 現 額					支出済額	不用額	備 考	
			当初予算額	補正予算額	計	節					
						区 分	金 額				
円	円	円			円	円	円				
1 総務費			360,000	0	360,000			258,219	101,781		
	1 総務管理費		360,000	0	360,000			258,219	101,781		
		1 一般管理費		360,000	0	360,000			258,219	101,781	
			2 人件費				265,000	227,994	37,006	保険者協議会 作業部会	172,536 55,458
			9 旅費				12,000	0	12,000		
			11 需用費				21,000	8,729	12,271	消耗品費 事務連絡費	1,439 7,290
			12 役務費				6,000	5,170	830	電話料 郵便料 手数料	672 3,948 550
			14 使用料及び賃借料				56,000	16,326	39,674	会場使用料等 コピー使用料	13,550 2,776
2 事業費		1,579,000	0	1,579,000			1,130,486	448,514			
1 事業費			1,579,000	0	1,579,000			1,130,486	448,514		
	1 調査研究費		1,579,000	0	1,579,000			1,130,486	448,514		
		2 人件費				581,000	508,365	72,635	データヘルス等推進支援事業 特定健診等に係る受診率向上のための普及啓発 特定健診等の円滑な実施（被用者保険集合契約の締結） 特定健診・特定保健指導従事者研修会	311,181 36,972 36,972 123,240	
		8 報償費				364,000	313,200	50,800	データヘルス等推進支援事業 特定健診・特定保健指導従事者研修会	241,000 72,200	
		9 旅費				191,000	51,138	139,862	データヘルス等推進支援事業 特定健診等の円滑な実施（被用者保険集合契約の締結） 特定健診・特定保健指導従事者研修会	48,314 444 2,380	
		11 需用費				48,000	11,196	36,804	消耗品費 事務連絡費	8,356 2,840	
		12 役務費				18,000	17,752	248	郵便料 通信運搬費	252 17,500	
		13 委託料				153,000	151,800	1,200	ポスター作成委託料 ホームページ委託費	80,300 71,500	
		14 使用料及び賃借料				224,000	77,035	146,965	会場使用料等 コピー使用料	37,800 39,235	
		3 諸支出金		341,000	0	341,000			341,000	0	
1 諸支出金			341,000	0	341,000			341,000	0		
	1 諸支出金		341,000	0	341,000			341,000	0		
						1 返還金	341,000	341,000	0	国庫返還金 341,000	
4 予備費		2,000	0	2,000			0	2,000			
1 予備費			2,000	0	2,000			0	2,000		
	1 予備費		2,000	0	2,000	1 予備費	2,000	0	2,000		
歳 出 合 計			2,282,000	0	2,282,000			1,729,705	552,295		

監査報告

令和3年度石川県保険者協議会の業務執行状況報告及び歳入歳出決算について、慎重に監査を行った結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和4年5月27日

監事 松本 尚人 

石川県保険者協議会

会長 大 畠 秀 信 様

令和4年度石川県保険者協議会事業計画

事 業 名	開 催 月	場 所
1 保険者協議会の開催 第1回 保険者協議会 (1) 令和3年度石川県保険者協議会事業報告並びに歳入歳出決算について (2) その他 第2回 保険者協議会 (1) 令和5年度石川県保険者協議会事業計画(案)及び予算(概算)について (2) その他 第3回 保険者協議会 (1) 令和4年度石川県保険者協議会事業費の応分の負担(案)について (2) 令和5年度石川県保険者協議会事業計画について (3) 令和5年度石川県保険者協議会歳入歳出予算(案)について (4) 令和5年度石川県保険者協議会事業費の応分の負担(案)について (5) 作業部会への付託事項(案)について (6) その他	令和4年7月19日 令和4年10月 令和5年1月	石川県地場産業振興センター 金 沢 市 金 沢 市
2 作業部会の開催 (1) 協議会からの付託事項について (2) その他	令和4年4月28日	石川県地場産業振興センター
3 データヘルス等推進事業 (1) データヘルス計画学習会 (2回) (2) 生活習慣病重症化予防推進事業(医療保険者への個別指導の実施)	(第1回) 令和4年7月29日 (第2回) 未 定 令和4年11月10日、 29日～30日	石川県青少年総合研修センター 県 内
4 特定健診等に係る受診率向上のための普及啓発 ポスター作成及び掲示	令和4年7月	金 沢 市
5 特定健診等の円滑な実施 被用者保険集合契約の締結	令和4年4月	金 沢 市
6 特定健診・特定保健指導従事者研修会の開催	(初任者研修) 令和4年7月25日 (実践者研修) 令和4年9月10日 (予定)	(ハイブリッド研修) 石川県地場産業振興センター 石川県地場産業振興センター (予定)
7 石川県保険者協議会ホームページの更新	随 時 更 新	

令和4年度石川県保険者協議会歳入歳出予算

歳入

款	項	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増減
1 国庫支出金		千円 954	千円 951	千円 3
	1 国庫補助金	954	951	3
2 負担金		987	986	1
	1 負担金	987	986	1
3 繰越金		263	342	△ 79
	1 繰越金	263	342	△ 79
4 諸収入		2	2	0
	1 諸収入	2	2	0
5 借入金		1	1	0
	1 借入金	1	1	0
歳入合計		2,207	2,282	△ 75

歳出

款	項	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	増減
1 総務費		千円 361	千円 360	千円 1
	1 総務管理費	361	360	1
2 事業費		1,582	1,579	3
	1 事業費	1,582	1,579	3
3 諸支出金		262	341	△ 79
	1 諸支出金	262	341	△ 79
4 予備費		2	2	0
	1 予備費	2	2	0
歳出合計		2,207	2,282	△ 75

令和4年度石川県保険者協議会 歳入歳出予算事項別明細書

[歳入]

款	項	目	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	比 較	節		説明
						区 分	金 額	
1 国庫支出金			千円 954	千円 951	千円 3		千円	千円 保険者協議会運営補助金
	1 国庫補助金		954	951	3			
		1 高齢者医療制度円滑 運営事業費補助金	954	951	3	1 高齢者医療制度円滑 運営事業費補助金	954	
2 負担金			987	986	1			各構成保険者負担金
	1 負担金		987	986	1			
		1 負担金	987	986	1	1 負担金	987	
3 繰越金			263	342	△ 79			国庫補助金返還金 前年度繰越金
	1 繰越金		263	342	△ 79			
		1 繰越金	263	342	△ 79	1 繰越金	263	
4 諸収入			2	2	0			預金利子 雑入
	1 諸収入		2	2	0			
		1 預金利子	1	1	0	1 預金利子	1	
		2 雑入	1	1	0	1 雑入	1	
5 借入金			1	1	0			借入金
	1 借入金		1	1	0			
		1 借入金	1	1	0	1 借入金	1	
歳 入 合 計			2,207	2,282	△ 75			

[歳出]

款	項	目	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	比 較	節		説明
						区分	金 額	
1 総務費			千円 361	千円 360	千円 1		千円	千円
	1 総務管理費		361	360	1			
		1 一般管理費	361	360	1			
		2 人件費					256	保険者協議会・作業部会
		9 旅費					12	委員等旅費
		11 需用費					21	消耗品費、事務連絡費
		12 役務費					6	電話料、郵便料、手数料
		14 使用料及び賃借料					66	会場等借料 コピー使用料
							60 6	
2 事業費			1,582	1,579	3			
	1 事業費		1,582	1,579	3			
		1 調査研究費	1,582	1,579	3			
		2 人件費					532	データヘルス等推進支援事業 特定健診等に係る受診率向上のための普及啓発 特定健診等の円滑な実施(被用者保険集合契約の締結) 特定健診・特定保健指導従事者研修会
								321 41 42 128
		8 報償費					364	データヘルス等推進支援事業 特定健診・特定保健指導従事者研修会
								272 92
		9 旅費					188	データヘルス等推進支援事業 特定健診・特定保健指導従事者研修会
								137 51
		11 需用費					45	消耗品費、事務連絡費、印刷製本費
		12 役務費					51	郵便料、通信運搬費
		13 委託料					197	ポスター作成委託費 ホームページ委託費
								125 72
		14 使用料及び賃借料					205	会場等借料 コピー使用料 自動車借上げ
							120 70 15	
3 諸支出金			262	341	△ 79			
	1 諸支出金		262	341	△ 79			
		1 返還金	262	341	△ 79			
						262	国庫補助金返還金	
4 予備費			2	2	0			
	1 予備費		2	2	0			
		1 予備費	2	2	0	1 予備費	2	予備費
歳 出 合 計			2,207	2,282	△ 75			

報告事項

令和4年度作業部会への付託事項について

	付託事項	対応結果	頁
1	特定健診受診等啓発ポスター作成について 特定健診受診啓発という目的は継続し、新たなテーマ、図柄の検討	○昨年度の保険者協議会委員の意見並びに、本年4月28日開催の作業部会の検討内容を基に事務局案を作成。 ○事務局案を全構成保険者に提示し、いただいたご意見を踏まえ作成した。 ○7月7日に関係機関へ配布した。	P 1
2	重症化予防による生活習慣病対策推進事業について 事業の実施内容と保険者の選定方法	○本年4月28日開催の作業部会において事業の実施内容と保険者の選定方法を決定した。	P 4
3	石川県内における健診データ等の分析について 把握、提供可能なデータ、データ収集時期の検討	○本年4月28日開催の作業部会において、提供可能なデータ、データ収集時期について決定した。 ○収集したデータについては、データヘルス計画学習会で活用するとともに、本会ホームページで公表する。	P 9

特定健診受診等啓発ポスターの作成

- 1 コンセプト
①健診の受診率等の更なる向上を図るとともに、健康づくりに関心をもってもらおう。
②糖尿病、高血圧等で治療の方も健診の対象であることを理解してもらおう
- 2 図柄
ポスターの背景に全保険者のキャラクターまたは市町の章、社章を並べる
- 3 メインタイトル
メタボ増加中！
- 4 サブタイトル
糖尿病、高血圧等で治療中の方も
特定健診・後期高齢者健診を受けましょう
- 5 サイズ
A2
- 6 作成枚数
1,350枚
- 7 配布時期
7月
- 8 配布先
各医療保険者、石川県医師会、金沢市医師会、石川県薬剤師会、石川県商工会連合会、スーパーマーケット連絡協議会、石川県公衆浴場業生活衛生同業組合など
- 9 作成費用
96,800円（税込）
- 10 著作権
石川県保険者協議会に属する
石川県保険者協議会ホームページに掲載するが、二次利用については各保険者においてキャラクター等の再申請が必要な場合もある



全国健康保険協会 石川支部
協会けんぽ

地方職員
共済組合
石川県支部

公立学校
共済組合
石川県支部

警察
共済組合
石川県支部

石川県
市町村職員
共済組合



金沢市



七尾市



小松市
カプッキー



輪島市
カモっぴ



珠洲市
みつけたろう



加賀市
健診カモンくん



羽咋市



かほく市
にゃんたろう



石川県
けんしんくん



白山市
ゆきママとしずくちゃん



能美市
ひぼ能ん、ほぼ能ん、ゆす美ん



野々市市
のっぴ



川北町



津幡町
よしなかくん



内灘町
ウッチーとナディ



志賀町
西能登あかり



宝達志水町
ほっぴーさん



中能登町
おりひめ



穴水町



能登町
のっとりん

石川県
医師国民健康
保険組合

石川県
後期高齢者医療
広域連合

糖尿病・高血圧等で治療中の方も
特定健診・後期高齢者健診を受けましょ

メタボ増加中！

石川県保険者協議会

保険者協議会は、健保組合、協会けんぽ、共済組合、市町村国保、国保組合、後期高齢者医療広域連合が連携・協力し、生活習慣病予防のための保健事業を効果的に実施することを目的に設置されました。

令和4年度石川県保険者協議会広報事業に係る特定健診受診啓発ポスタ一配付一覽

配布先	部数	備考
健康保険組合連合会石川連合会等	16	健保連石川連合会 5部（予備含） 健康保険組合 11組合×1部
全国健康保険協会石川支部	20	要求部数に応じ配布
共済組合保険	12	4組合×3部
石川県内市町国保	57	19市町国保×3部
石川県医師国保組合	3	
石川県後期高齢者医療広域連合	3	
石川県健康福祉部健康推進課	3	
石川県医師会	280	郡市医師会（金沢市医師会除く） 256機関+予備24
金沢市医師会	210	金沢市内医療機関 194機関+予備16
石川県薬剤師会	500	加賀支部 30機関 小松・能美支部 67機関 白山・野々市支部 70機関 金沢支部 204機関 河北支部 28機関 羽咋支部 14機関 七尾・鹿島支部 26機関 輪島支部 8機関 鳳珠支部 13機関 珠洲支部 1機関 ※上記10支部に予備各2部 本部予備19
石川県商工会連合会	21	
石川県スーパーマーケット連絡協議会	103	13社（加盟店舗）
石川県公衆浴場業生活衛生同業組合	40	52社（加盟店舗）
その他（国保連合会内掲示）	4	
配付枚数計	1,272	
予備	78	
総数	1,350	

2 重症化予防による生活習慣病対策推進事業について

重症化予防による生活習慣病対策推進事業実施要領

1 目的

標準的な健診・保健指導プログラムでは、対象者が健診結果に基づき、自らの健康状態を認識した上で、代謝等の身体のメカニズムと生活習慣（食習慣や運動習慣等）との関係を理解し、生活習慣の改善を自らが選択し、行動変容に結びつけられるようにすることが求められております。

また、自覚症状のない生活習慣病は自己管理が重要で、自己管理のためには、住民自身が自分の身体を客観的なデータで知っていることが大事だと認識し、健診が住民自身のものになることが大切です。

これらのことが実現できれば、生活習慣病の発症予防、重症化予防にもつながることとなります。

このことを踏まえ、効果的な個別指導が推進できる人材を育成し、将来的な医療費の伸びの適正化に資することを目的とします。

2 実施主体

実施を希望する保険者、石川県保険者協議会

3 事業内容

実施を希望する保険者（3保険者程度）において以下を実施

実施希望保険者の保健師、管理栄養士等が実施する保健指導の現場に指導者が同行し効果的な保健指導について学ぶ。

- (1) 保健指導前の健診結果読み取り学習会
- (2) 対象者への保健指導（担当者と講師と随員1名可）
- (3) 保健指導後学習会 保健指導後の感想と事例学習

※（1）及び（3）については、他保険者も場合により参加可

4 経費

この事業に係る経費の国庫補助金を除く経費は、各医療保険者による応分の負担とする。

5 実施時期 11月10日、29～30日

重症化予防による生活習慣病対策推進事業実施状況について

1 実施内容

保険者の保健師、管理栄養士等が実施する保健指導の現場に指導者が同行し効果的な保健指導について学ぶ。

- (1) 保健指導前の健診結果読み取り学習会（他市町参加）
- (2) 対象者への保健指導（地区担当者と講師と随行1名可）
- (3) 保健指導後学習会 保健指導後の感想と事例学習（他市町参加）

2 選定方法

- (1) 全保険者に実施について通知
- (2) 申込を受付
- (3) 申込保険者から保険者選定
 - ・実施していない保険者を優先
 - ・国保の場合、二次医療圏から1保険者ずつ

【参考】応募及び実施状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
応募 保険者数		8 保険者	7 保険者	4 保険者	4 保険者	2 保険者	
実 施 保 険 者	被用者保険					北鉄	
	国民健康保険	南加賀	小松市	能美市	小松市	能美市	能美市
		石川中央	内灘町		野々市市 津幡町	白山市 内灘町	
		能登中部	志賀町	宝達志水町	宝達志水町	珠洲市	
		能登北部		羽咋市			
実施時期		11/13～15	9/19～21	7/9～11	10/20～22	11/17～18	

〈参考〉令和3年度実施状況

A 健診経年結果

	年齢	47	47	46	45	45	44	43	
		21/01	20/06	19/12	19/07	19/01	18/07	18/01	17/01
身体計測	身長	166.8	166.8	166.8	166.8	166.8	166.8	166.8	
	体重	92.5	96	95.5	96.5	93.5	90	88	
	BMI	やせ							
		18.5未満	33.2	34.5	34.3	33.6	32.3	31.6	30.6
脂質	脂質	106.7	110.1	108.5	109	103.8	102.5	99	
	LDLコレステロール	137	143	133	123	152	124	130	
肝臓	中性脂肪	49	47	61	54	47	50	58	
	GOT	173	141	74	135	187	97	121	
	GPT	22	41	43	61	26	25	27	
	γGTP	40	79	89	107	42	37	43	
尿糖	血糖	20	26	29	36	35	24	30	
	血糖	132	129	141	139	145	140	132	
尿蛋白	尿蛋白	87	86	98	100	98	96	90	
	尿蛋白	7.3	7.2	7.2	8.4	6.5	6.5	7.7	
尿酸	尿酸	93	91	107	106	100	100	88	
	尿酸	93	91	107	106	100	100	88	
腎・泌尿器	尿酸	5.7	6	6	6.1	5.9	5.7		
	尿酸	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
血液	ヘモグロビン	15.1	14.9	15.2	15.5	15.8	15.9	16.8	
	ヘモグロビン	521	511	506	520	551	542	552	
心電図・測定	心電図	46	44.5	45.5	47.9	47.9	47.4	47.7	
	心電図	35~60	35~60	35~60	35~60	35~60	35~60	35~60	

今回の学習を通して、改めて相手を尊重することの大切さを学んだ。講師は、説明の前には必ず、「～についてお話しさせてもらってもいいですか。」と確認されるなど、相手に尊重の意を示されていた。

今まで初回面談から食事内容や禁煙について指導していたが、健診結果を理解できれば、対象者が自分で生活を振り返るため、食事内容まで聞く必要がないことを教えていただいた。行動変容を強要するのではなく、対象者自身で選択できるよう導くことが重要であると理解できた。

健診結果の読み取りを教えてください。現在使用している経年結果表では不十分なため、形式を見直す必要がある。また、保健指導媒体も重要な役割があることを痛感し、今回教えていただいた情報の中から、自分たちが使えそうなものを模索していきたいと思う。今回参加させていただき、たくさんのお話を学ぶことができた。学びは面談でしか生かすことができないため、今後積極的に面談機会を増やしていきたいと思う。

(保健指導同行者)

私たちは面談時、対象者が嫌々来ていることも感じつつ、指導をしなければいけないことに、ジレンマを感じていた。しかし、講師の「対象者のデータから学ばせていただいた、その中で分らないことがあったため教えてほしい」という姿勢を拝見して、対象者も保健師も気持ちよく面談に入ることができていると感じた。事前の計画では、血圧からアプローチする予定であったが、対象者が強く健診時のみ血圧が高く、通常時は高くないと主張されたため、BMI30 以上というのはインスリンを使わずに済ませたいという違うアプローチから話をされた。保健師にいろいろ引き出しがあるため、軌道修正できるのだと感じた。BMI30 以上であり、減量する必要性を伝えることは当たり前だと思っていたが、本人に「体重を下げる予定はある？」と問いかけ、本音を確認していた。講師からは、減量すべきとは一切言わず、どうして太ったのか不思議だと問いかけ、対象者自身が太った要因について振り返っていた。保健指導に拒否的な態度の対象者であったが、積極的に話をされたいのは、講師が「いろいろ我慢して、それはさみしいですね。」「納得しないかぎりやりたくないですね」と相手の立場にたって発言をしていた時であった。対象者は自分の気持ちを分かってくれた人に話をしたいと思っており、まずはそこから関係形成が始まるのだと感じた。説明の際にも、一つ一つ「イメージわかっていただけました？」「ありがとうございます」と反応を確認しつつ、理解していただいたことに感謝している姿が印象的であった。

B

健診結果

	年齢 健診日	53	52	52	51	51	50	49
		21/01	20/06	19/12	19/07	19/01	18/07	18/01
身体計測	身長	171.8	171.8	171.8	171.8	171.8	171.8	171.8
	体重	68.5	67	62	68.5	68	70	73.5
	BMI	23.2	22.7	21	23.2	23	23.7	24.9
	BMI	18.50未満	18.50~2未満	21	23.2	23	23.7	24.9
脂質	LDLコレステロール	85.2	84	81.6	89.6	89.3	89.4	92.6
	HDLコレステロール	206	142	140	169	174	183	169
肝臓	GOT	223	16	20	152	148	120	133
	GPT	86	13	17	13	20	18	31
	γGTP	28	36	28	27	34	39	43
	血圧、収縮期	134	135	134	123	123	115	148
循環器	血圧、拡張期	81	85	94	96	83	82	94
	尿酸	9.9	9.3	9.3	7.5	9.2	9.2	8.7
糖代謝の検査	空腹血糖	102	94	97	91	101	100	90
	食後血糖2.5時間以上	100~109	100~109					
	食後血糖3.5時間未満	~139						
	HbA1c(NGSP)	5.8	5.8	6.1	6.1	6	6	6
腎・泌尿器	クレアチニン	0.91	0.83	0.83	0.8	0.8	0.83	0.86
	推算GFR	66.8	76.5	80.1	80.1	80.1	80.1	80.1
	蛋白	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)
	潜血	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)
血液一般	ヘモグロビン	14.1	13.4	14.3	13.5	14	13.7	13.2
	赤血球数	646	609	645	621	666	650	619
	ヘマトクリット	43.5	41.4	43.6	41	44.5	42.5	42.1
	心電図_判定	正常	正常の範囲	正常の範囲	正常の範囲	正常の範囲	正常の範囲	正常の範囲

(保健指導同行者)

事前学習では、以下の問題点にアプローチしていく方向となった。

- ① 肝機能データ悪化について受診したか確認する。
- ② 年齢の割に腎機能が低下している。尿酸が高いため痛風腎が関係している可能性がある。
- ③ 体重が 67 キロを超えると LDL コレステロールが 160 以上と高くなっていて、アプローチしたいところが複数あったため、まずは、健診結果から対象者が気になったことを確認し、そこから話を広げていた。

結果、きちんと受診し、肝機能も尿酸値も検査データは改善していたと話されていた。コレステロールに関しては、25 歳頃から高く、家族性コレステロール血症であると言われたとのこと。そう聞くと私たちであつたら、それは仕方ないと片付けてしまいが、それについて、遺伝的にコレステロールが高い人は、体の中でどういいう変化が起こっているのかをシンプルかつ興味を惹くような言葉でイメージが湧くように説明されていた。

また、医師に言われてからアルコールに制限をかけているという情報に対し、非言語的コミュニケーションで相手に賞賛していることを伝えていた。本人も褒められたわけではないのにも関わらず、笑顔で飲まなくなった背景などを詳しく話し始めた。これまでに保健指導は、相手を賞賛することで話しやすい雰囲気を作り出すと考えていたが言葉で褒めてしまうと指導者の立場が上だと相手に感じさせてしまうため、非言語的コミュニケーションを取り入れることで相手にこちらの思いを伝えることもできるのだと分かった。

面談時間は 30 分を予定していたが、20 分程度で終了したことも驚きであった。これまでの経験では、時間が余ればさらに違うところにもアプローチし、一方的な保健指導を行っていた。しかし、今回の対象者は保健師に伝えたいことが伝わり、押しつけない情報を受け取ることができたため、短時間でもとても有意義な時間を過ごされたのだと思う。

骨密度測定結果一覧

性別: 男

4 5 6 7 8 9
半角で入力してください

年齢	性別	BMI	骨質	腰椎 (L1-L4)				股関節 (FEMUR)				T値	Z値				
				測定日	測定時間	測定場所	測定者	測定日	測定時間	測定場所	測定者						
43歳	男	25.0	骨質	173.7	173.7	H19.5.21	空腹	173.7	173.7	H25.9.18	空腹	173.7	173.7	H21.1.18	空腹	173.7	173.7
49歳	男	27.0	骨質	306	302		空腹	306	302		空腹	306	302		空腹	306	302
50歳	男	25.9	骨質	170.5	170.5	F21.1.23	空腹	170.5	170.5	F21.1.23	空腹	170.5	170.5	F21.1.23	空腹	170.5	170.5
51歳	男	25.7	骨質	173.7	173.7	H28.1.18	空腹	173.7	173.7	H28.1.18	空腹	173.7	173.7	H28.1.18	空腹	173.7	173.7
52歳	男	27.1	骨質	173.0	173.0	H28.1.18	空腹	173.0	173.0	H28.1.18	空腹	173.0	173.0	H28.1.18	空腹	173.0	173.0
53歳	男	27.5	骨質	172.8	172.8	F20.9.7	空腹	172.8	172.8	F20.9.7	空腹	172.8	172.8	F20.9.7	空腹	172.8	172.8
54歳	男	25.1	骨質	172.8	172.8	F17.7.4	空腹	172.8	172.8	F17.7.4	空腹	172.8	172.8	F17.7.4	空腹	172.8	172.8
55歳	男	28.5	骨質	172.8	172.8	F17.7.4	空腹	172.8	172.8	F17.7.4	空腹	172.8	172.8	F17.7.4	空腹	172.8	172.8
56歳	男	28.5	骨質	172.8	172.8	F17.7.4	空腹	172.8	172.8	F17.7.4	空腹	172.8	172.8	F17.7.4	空腹	172.8	172.8
57歳	男	28.5	骨質	172.8	172.8	F17.7.4	空腹	172.8	172.8	F17.7.4	空腹	172.8	172.8	F17.7.4	空腹	172.8	172.8

(注) 正常値以上の値は緑色、正常値に近い値は黄色、正常値以下の値は赤色で表示されています。

(事例検討会出席者)

能美市は、業務時間を割いて事例検討会をしているなど保健指導の技術向上を目指していますが、同じメンバーでやっているとマンネリ化は否めません。しかし、今回の学習会後の事例検討は視点が違ってきており、自分たちで学習したことをどう住民に返していくかを考えることも増えてきたように思います。しかしまだまだ保健指導で住民に会う回数は少ないように思います。出会った住民の言葉を大事にしなげら、その中で課題を見つけ、宿題をもらって住民も保健師も学習できるような訪問をしていきたいと思えます。

(保健指導同行者)

実際の保健指導の様子を見学させていただいて、健診結果から読み取ったことを伝え、健診結果からではわからない部分を教えていただきたという姿勢・心配しているという姿勢で話をさらに聞き出してあげることがわかりました。「教えてください」という姿勢は、対象者にとっても、自分のことを一緒に考えてくれることが相手に伝わり、対象者自身が生活を振り返り、ありのままを話してくれるのではないかと感じました。

(保健指導同行者)

私は当日講師に同行訪問させていただき、自分の保健指導と比べながら聞きました。全体的に違ったことは、住民の方に主体的に話してもらえうスタンスだったことです。私はつい自分がメインで話してしまいいわゆる押しつけの指導になってしまふことがあるのですが、講師は「わからないから教えてください」というスタンスで、住民の方から聞き出すことに注力していただきたいと思います。実際に話を聞くと、事前データでみてわからなかったことがつながりました。

保健指導は指導側の知識の押しつけではなく、一緒に学んでどうしたらいいか考えていくために、まず必要最低限の知識を持たねばならないということも同時に学びました。糖代謝の仕組みやよく使われる治療薬の名前と効果は、すぐに答えられるように、自分の学びを深めていかなければいけないと思えました。

3 石川県内における健診データ等の分析について

(1) 目的

各医療保険者の健診データ等の分析を継続的に行い、各医療保険者が抱える健康課題や、保険者共通の課題等を把握、資料化することにより、保険者の予防、健康づくりの取り組みを推進することを目的とする。

(2) 内容

①収集データ

- ・各医療保険者の特徴（別紙1） P 1 0
- ・令和3年度特定健診有所見者状況、質問票（別紙2） P 1 5
- ・肥満度分類別 健診受診者有所見者状況（別紙3） P 1 8
- ・保険者が民間委託している保健事業に係る調査票（別紙4） P 2 2

②データ収集時期 7月

石川県保険者協議会を構成する各医療保険者の特徴と医療費等の状況をみました

※一人当たり医療費の国保はグラフで見る石川の国保と介護より 2021.7.16

公的医療保険		地方職員共済組合 石川県支部(R1.3末現在)		警察共済組合 石川県支部(R3.3末現在)		石川県市町村職員 共済組合(R3.3末現在)		公立学校共済組合 石川支部		北國銀行		澁谷工業		津田駒工業			
特徴		石川県職員。公的年金制度や他の福利厚生制度も併せ持っている。												津田駒工業グループの単一健保			
保険加入者数 人口比率		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数(R3.3末)	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
		8,643人		5,263人		24,560人		16,841人		3,718人		4,354人		2,077人			
被保険者数		4,643	53.7%	2,382	45.3%	13,657	55.6%	10,345	61.4%	2,059	55.4%	2,196	50.4%	1,075	51.8%		
被扶養者数		4,000	46.3%	2,881	54.7%	10,903	44.4%	6,496	38.6%	1,654	44.6%	2,158	49.6%	1,002	48.2%		
皆保険制度を支える人とお金	年齢別	65歳未満	8,529	98.7%	5,238	99.5%	24,231	98.7%	16,625	98.7%	3,662	98.5%	4,253	97.7%	2,042	98.3%	
		前期高齢者(65-74)	114	1.3%	25	0.5%	329	1.3%	216	1.3%	56	1.5%	101	2.3%	35	1.7%	
	平均年齢						31.6歳		34.5(R3.6.7)		40.7歳		41.5歳		44.3歳		
	財政負担計		2,915,250千円		11億円		7,510百万円				1,088,168千円		1,139,610千円		448,990千円		
	他制度へ	保険料	2,915,250千円	100%	11億円		7,510百万円	100%			1,088,168千円	100%	1,139,610千円	100%	448,990	100%	
		退職拠出金	63千円	0.0%			58,070	0.0%			9千円	0.0%	9千円	0.0008%	4	0.0%	
		前期調整分	602,290千円	20.7%			2,911百万円	38.8%			287,034千円	26.4%	347,885千円	30.5%	58,399	13.0%	
		後期支援金	658,672千円	22.6%			1,717百万円	22.9%			244,212千円	22.4%	303,195千円	26.6%	133,850	29.8%	
	公費	国															
		都道府県															
市区町村																	
加入者1人あたり所要保険料		628千円		206千円		549千円				219千円		516千円		417千円			
所要保険料率(医療給付分)				3.5%		3.7%				8.8%		8.8%		7.4%			
※一人当たり医療費(医療費/加入者数)		155千円		106千円		129千円		100千円		55千円		91千円		107千円			
入院医療費		1,342百万円(令和元年度 総医療費)		2.1億円		1,013百万円		10億		64,177千円		167,466千円		71,851千円			
医療費がかかる疾患は？	主要疾患別医療費割合	被保険者	1位	新生物	14.6%	悪性新生物	24.9%	内分泌・栄養・代謝疾患	7.7%	高血圧性疾患	4.7%	妊娠、分娩・産じょく	14.0%	新生物	11.1%		
			2位	循環器系疾患	12.5%	関節、脊椎、骨密度障害等	16.9%	良性新生物	5.8%	その他の急性上気道感染症	4.3%	悪性リンパ腫	11.9%	循環器系疾患	10.0%		
			3位	歯疾患	10.6%	胆石、肺炎等	11.1%	関節症	3.8%	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	4.2%	結腸の悪性新生物	6.3%	消化器系疾患	6.6%		
			4位	呼吸器系疾患	8.8%	骨折、損傷等	6.7%	虚血性心疾患	3.0%	屈折及び調節の障害	3.8%	椎間板障害	5.3%	呼吸器系疾患	5.2%		
			5位	内分泌、栄養及び代謝疾患	7.2%	良性新生物	6.3%	骨折	2.7%	糖尿病	3.6%	脳梗塞	5.0%	腎尿路生殖器系疾患	4.2%		
	被扶養者	1位	呼吸器系疾患	18.8%	悪性新生物	17.5%	脳性麻痺・麻痺性症候群	12.5%			白血病	10.3%	精神・行動障害	9.5%			
		2位	歯疾患	10.4%	先天奇形等	15.8%	内分泌・栄養・代謝疾患	5.3%			心臓の先天奇形	10.1%	新生物	7.0%			
		3位	皮膚及び皮下組織の疾患	6.8%	眼の疾患	10.6%	骨折	3.7%			妊娠、分娩・産じょく	6.4%	妊娠・分娩・産じょく	4.3%			
		4位	新生物	6.6%	周産期に発生した病態	8.6%	パーキンソン病	2.9%			腎不全	5.3%	呼吸器系疾患	3.3%			
		5位	先天奇形、変形及び染色体異常	6.1%	妊娠、分娩および産じょく	6.9%	貧血	2.2%			気分障害	4.4%	損傷・中毒・外因性	2.9%			
外来医療費				3.5億円		2,164百万円		6.9億		139,938千円		226,963千円		150,502千円			
中長期目標疾患	主要疾患別医療費割合	被保険者	1位	上記が令和元年度の総医療費であり、入院医療費、外来医療費で区分けしたデータはなし。		歯の疾患	21.0%	糖尿病	5.7%	その他の妊娠、分娩及び産じょく	6.9%	糖尿病	6.4%	内分泌・栄養・代謝疾患	10.9%		
			2位			悪性新生物	16.5%	高血圧性疾患	4.6%	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	6.8%	乳房の悪性新生物	5.9%	循環器系疾患	8.4%		
			3位			関節、脊椎、骨密度障害等	7.9%	炎症性関節障害	3.4%	その他の消化器系の疾患	5.6%	高血圧性疾患	4.1%	消化器系疾患	6.8%		
			4位			高血圧性疾患	6.7%	気分障害(躁うつ)	3.3%	良性新生物及びその他の新生物	5.6%	腎不全	4.0%	新生物	6.6%		
			5位			高脂血症、甲状腺障害	5.0%	脂質異常症	3.0%	その他の心疾患	5.3%	炎症性関節障害	3.7%	呼吸器系疾患	6.2%		
	被扶養者	1位			歯の疾患	20.4%	内分泌・栄養・代謝疾患	11.8%			内分泌、栄養及び代謝疾患	6.9%	呼吸器系疾患	12.1%			
		2位			皮膚系疾患	9.5%	皮膚炎・湿疹	4.5%			皮膚炎・湿疹	5.0%	新生物	9.1%			
		3位			かぜ等	6.6%	喘息	4.1%			アレルギー性鼻炎	4.5%	皮膚・皮下組織疾患	8.1%			
		4位			肺炎、気管支炎等	5.9%	アレルギー性鼻炎	4.0%			喘息	4.4%	内分泌・栄養・代謝疾患	8.1%			
		5位			眼の疾患	5.5%	乳房の悪性新生物	2.5%			損傷・外因性	2.7%	循環器系疾患	6.0%			
人工透析者数	レセプト件数		費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)	レセプト件数	費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)	レセプト件数	費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)	レセプト件数	費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)
	脳	脳梗塞、脳出血等															
	心臓	狭心症、心筋梗塞等															
	腎臓	慢性腎不全(透析者)															
人工透析者数				人		人		人		人		人		人		人	
(内)糖尿病性腎症				人		人		人		人		人		人		人	

公的医療保険		北陸鉄道 (R2.3末現在)		北陸情報産業		石川県自動車販売店 (R3.3末現在)		北陸地区信用金庫		協会けんぽ		後期高齢者 医療広域連合					
特徴				主に北陸三県の情報システム関連企業で構成される。													
保険加入者数 人口比率		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合				
		2,042人		24,538人		5,942人		5,535人		417,153人							
被保険者数		1190人	58.3%	14,427人	58.8%	3,089人	52.0%	3,441人	62.2%	242,633人	58.2%						
被扶養者数		852人	41.7%	10,111人	41.2%	2,853人	48.0%	2,094人	37.8%	174,520人	41.8%						
皆 保 険 制 度 を 支 え る 人 と お 金	年齢別	65歳未満	1920人	94.0%	24,147	98.4%	5,809人	97.8%	5,374	97.1%	396,737	95.1%					
		前期高齢者(65-74)	122人	6.0%	391	1.6%	133人	2.2%	161	2.9%	20,416	4.9%					
	平均年齢		47.9歳		40.61歳		40.9歳		43.5歳		36.2歳		82.5歳				
	財政負担計		600,093千円		6,815,347千円		1,474,553千円		1,501,479千円				88,103億円 100%				
	他 制 度 へ	保険料	600,094千円	100%	6,815,347千円	100%	1,474,553千円	100%	1,501,479千円	100%			12,005億円 13.6%				
		退職拠出金	11千円	0.0%	140千円	3.8%	12千円	0.1%	12千円	0.0%							
		前期調整分	110,475千円	18.4%	1,475,712千円	21.3%	164,779千円	11.2%	434,328千円	28.9%			参考4 医療保険制度の財政構造表 (平成30年度)				
		後期支援金	117,303千円	19.5%	1,518,193千円	20.8%	344,669千円	23.4%	317,080千円	21.1%							
	公費	公費	なし		なし		なし		なし				76,098億円 86.4%				
		国											48,778億円 64.1%				
都道府県												14,728億円 19.4%					
市区町村												12,592億円 16.5%					
加入者1人あたり所要保険料		54千円		277千円		248千円		304千円				69千円					
所要保険料率(医療給付分)		10.9%		8.8%		9.6%		9.9%									
※一人当たり医療費(医療費/加入者数)		124千円		141千円		78千円		99千円									
入院医療費		105,998千円		729,720千円		236,888千円		260,994千円		21,100,000千円		7.6兆円					
医 療 費 が か か る 疾 患 は ?	主要 疾 患 別 医 療 費 割 合	被 保 険 者	1位	新生物	25.6%	良性新生物	6.6%	新生物	42.1%	他の妊娠・分娩・産じょく	7.0%	その他の悪性新生物	9.9%	骨折	10.5%		
			2位	循環器系疾患	17.1%	骨折	5.7%	循環器系疾患	16.2%	良性新生物	6.6%	虚血性心疾患	8.6%	脳梗塞	7.5%		
			3位	消化器系疾患	10.5%	脳内出血	3.8%	筋骨格系・結合組織疾患	7.5%	気管・肺の悪性新生物	4.2%	その他の消化器系の疾患	5.8%	肺炎	3.2%		
			4位	損傷・中毒・外因性	9.5%	脳梗塞	3.1%	精神・行動障害	6.5%	脳梗塞	4.2%	その他の心疾患	4.5%	虚血性心疾患	2.9%		
			5位	筋骨格系・結合組織疾患	8.1%	虚血性心疾患	3.0%	消化器系疾患	5.8%	関節症	3.7%	良性新生物及びその他の新生物	4.5%	腎不全	2.7%		
	被 扶 養 者	1位	内分泌・栄養・代謝疾患	18.4%	脳性麻痺・麻痺性症候群	4.7%	周産期発生病態	37.3%	白血病	7.3%	妊娠及び胎児発育に関連する障害	6.2%	2018医療給付実態調査 性別・年齢階級別・疾病分類別・制 度別・件数・日数(回数)・医療費				
		2位	循環器系疾患	17.9%	統合失調症・妄想性障害	4.1%	呼吸器系疾患	9.4%	脳梗塞	6.3%	その他の悪性新生物	5.5%					
		3位	消化器系疾患	14.0%	良性新生物	3.7%	新生物	8.1%	胃・十二指腸炎	3.7%	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	4.8%					
		4位	新生物	8.5%	骨折	2.9%	循環器系疾患	7.1%	他の妊娠・分娩・産じょく	3.2%	その他の神経系の疾患	4.8%					
		5位	腎尿路生殖器系	5.9%	内分泌・栄養・代謝疾患	2.3%	神経系疾患	6.9%	関節症	2.6%	その他の消化器系の疾患	3.7%					
外来医療費		147,927千円		2,722,184千円		226,231千円		284,846千円		2,200,000,000千円		4.6兆円					
中 長 期 目 標 疾 患	主要 疾 患 別 医 療 費 割 合	被 保 険 者	1位	循環器系疾患	19.5%	糖尿病	6.3%	内分泌・栄養・代謝疾患	14.2%	糖尿病	7.2%	高血圧性疾患	12.6%	高血圧性疾患	16.0%		
			2位	精神・行動障害	16.4%	高血圧性疾患	5.1%	新生物	11.9%	高血圧性疾患	5.3%	糖尿病	8.4%	腎不全	10.5%		
			3位	新生物	12.6%	腎不全	5.1%	循環器系疾患	11.5%	気管・肺の悪性新生物	3.9%	腎不全	7.9%	糖尿病	6.5%		
			4位	損傷・中毒・外因性	11.2%	血液・造血器疾患	4.0%	筋骨格系・結合組織疾患	9.4%	炎症性関節障害	3.6%	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	5.3%	脂質異常症	3.2%		
			5位	筋骨格系・結合組織疾患	10.3%	脂質異常症	2.9%	腎尿路生殖器系疾患	8.2%	脂質異常症	3.3%	その他の消化器系の疾患	2.8%	脊椎障害(脊椎症を含む)	3.2%		
	被 扶 養 者	1位	呼吸器系疾患	16.8%	喘息	5.9%	呼吸器系疾患	21.1%	炎症性関節障害	14.7%	腎不全	6.8%	2018医療給付実態調査 性別・年齢階級別・疾病分類別・制 度別・件数・日数(回数)・医療費				
		2位	精神・行動障害	11.5%	アレルギー性鼻炎	4.8%	皮膚・皮下組織疾患	10.2%	喘息	7.9%	高血圧性疾患	6.5%					
		3位	筋骨格系・結合組織疾患	8.5%	皮膚炎・湿疹	4.4%	新生物	7.3%	腎不全	6.1%	その他の急性上気道感染症	5.0%					
		4位	眼・付属器疾患	7.5%	内分泌・栄養・代謝疾患	4.4%	筋骨格系・結合組織疾患	7.1%	皮膚炎・湿疹	3.4%	喘息	4.5%					
		5位	内分泌・栄養・代謝疾患	6.7%	急性気管支炎・細気管支炎	3.8%	眼・付属器疾患	7.1%	アレルギー性鼻炎	3.1%	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	4.4%					
人工透析者数	レセプト件数		費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)	レセプト件数	費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)	レセプト件数	費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)	レセプト件数	費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)
	脳	脳梗塞、脳出血等															
	心臓	狭心症、心筋梗塞等															
腎臓	慢性腎不全(透析者)																
人工透析者数		人		人		人		人		人		人					
(内)糖尿病性腎症		人		人		人		人		人		人					

公的医療保険		石川県 (市町国保全体)				金沢市		七尾市		小松市		輪島市		珠洲市		加賀市 (元年度)													
特徴																													
保険加入者数 人口比率		人数		割合	人数		割合	人数		割合	人数		割合	人数		割合													
		220,660人			83,731人		18.6%	11,105人			19,006人		17.7%	6,992人			3,985人		27.3%	14,178人		21.5%							
被保険者数																													
被扶養者数																													
皆 保 険 制 度 を 支 え る 人 と お 金	年齢別	65歳未満		49.2%	44,411人		53.0%	4,942		44.5%	9,195人		48.3%	3,293		47.1%	1,531		38.4%	7,154人		50.5%							
		前期高齢者(65-74)		50.8%	39,320人		47.0%	6,163		55.5%	9,811人		51.7%	3,699		52.9%	2,454		61.6%	7,024人		49.5%							
		平均年齢		56.0歳		54.5歳		58.3歳		56.6歳		58.1歳		60.4歳		56.8歳													
		財政負担計		70,183,366千円		43,374,449千円						3,383,569,225				7,723,157千円													
		保険料		29,393,983千円		8,950,561千円		20.6%				597,881,650		17.7%		1,418,043千円		18.4%											
		他 制 度 へ	退職拠出金		15,573千円	0.02%																							
			前期調整分		23,084千円	0.03%		-				不明																	
			後期支援金		12,804,420千円		18.2%		-				153,188,436		4.5%		403,451千円		28.5%										
		公費		40,783,383千円		58.1%		34,423,888千円		79.4%				2,785,687,575		82.3%		6,015,915千円		77.9%									
			国		30,139,331千円		73.9%		166,432千円		0.5%				6,291,000		0.2%		0円		0.0%								
		都道府県		9,194,752千円		22.5%		31,188,441千円		90.6%				2,501,477,541		73.9%		5,433,707千円		90.3%									
		市区町村		1,455,300千円		3.6%		3,069,015千円		8.9%				277,919,034		8.2%		582,208千円		9.7%									
	加入者1人あたり所要保険料		70千円		107千円								86千円				95千円												
	所要保険料率(医療給付分)																												
※一人当たり医療費(医療費/加入者数)		407千円		406千円		428千円		404千円		386千円		377千円		415千円															
入院医療費		37,372,369千円				14,011,152千円				2,077,478千円				3,323,209千円				1,134,761千円				562,945千円				2,605,328千円			
医 療 費 が か か る 疾 患 は ?	主要 疾 患 別 医 療 費 割 合	被 保 険 者	1位	骨折	3.5%	統合失調症、妄想性障害	7.4%	脳梗塞	4.0%	統合失調症、妄想性障害	7.9%	関節症	4.2%	関節症	6.3%	統合失調症、妄想性障害	7.2%												
			2位	虚血性心疾患	3.2%	骨折	3.8%	骨折	3.3%	気管、気管支、肺の悪性新生物	3.3%	統合失調症、妄想性障害	4.0%	白血病	5.4%	気管、気管支、肺の悪性新生物	3.5%												
			3位	脳梗塞	3.0%	気分障害(躁うつ病を含む)	3.7%	腎不全	3.2%	虚血性心疾患	3.2%	虚血性心疾患	3.6%	虚血性心疾患	4.3%	気分障害(躁うつ病を含む)	3.3%												
			4位	関節症	3.0%	脳梗塞	3.1%	関節症	2.9%	気分障害(躁うつ病を含む)	3.0%	気分障害(躁うつ病を含む)	2.7%	腎不全	3.8%	脳梗塞	3.2%												
			5位	気管、気管支、肺の悪性新生物	2.9%	虚血性心疾患	2.9%	気管、気管支、肺の悪性新生物	2.8%	脳性麻痺、他の麻痺性症候群	3.0%	胃の悪性新生物	2.6%	気管、気管支、肺の悪性新生物	3.6%	虚血性心疾患	3.0%												
	被 扶 養 者	1位																											
		2位																											
		3位																											
		4位																											
		5位																											
外来医療費		43,937,104千円				16,643,532千円				2,268,675千円				2,395,986千円				1,438,169千円				715,353千円				2,876,505千円			
中 長 期 目 標 疾 患	主要 疾 患 別 医 療 費 割 合	被 保 険 者	1位	糖尿病	9.5%	糖尿病	8.9%	糖尿病	10.8%	糖尿病	10.1%	糖尿病	10.6%	糖尿病	11.8%	糖尿病	9.7%												
			2位	腎不全	7.4%	腎不全	7.3%	腎不全	7.4%	腎不全	8.1%	高血圧性疾患	7.0%	腎不全	9.2%	高血圧性疾患	6.5%												
			3位	高血圧性疾患	5.6%	高血圧性疾患	5.1%	高血圧性疾患	5.7%	高血圧性疾患	6.3%	腎不全	6.0%	高血圧性疾患	7.3%	脂質異常症	4.1%												
			4位	脂質異常症	4.2%	脂質異常症	4.0%	脂質異常症	5.3%	脂質異常症	4.5%	脂質異常症	4.0%	脂質異常症	5.9%	気管、気管支、肺の悪性新生物	3.6%												
			5位	気管、気管支、肺の悪性新生物	3.4%	気管、気管支、肺の悪性新生物	3.7%	炎症性多発性関節障害	2.6%	気管、気管支、肺の悪性新生物	4.1%	気管、気管支、肺の悪性新生物	3.3%	炎症性多発性関節障害	4.0%	炎症性多発性関節障害	3.1%												
	被 扶 養 者	1位																											
		2位																											
		3位																											
		4位																											
		5位																											
人工透析者数		人				人				人				人				人											
(内)糖尿病性腎症		人				人				人				人				人											

公的医療保険		羽咋市		かほく市		白山市		能美市		野々市市		川北町		津幡町			
特徴																	
保険加入者数 人口比率		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
		4,513人	20.9%	6,288人	18.3%	20,727人	18.3%	8,762人	17.6%	8,483人	15.8%	961人	15.1%	6,285人	17.1%		
被保険者数																	
被扶養者数																	
皆保険制度を支える人とお金	年齢別	65歳未満	1,796	39.8%	2,930	46.6%	9,405	45.4%	4,316	49.3%	4,706	55.5%	444	46.2%	3,099	49.3%	
		前期高齢者(65-74)	2,717	60.2%	3,358	53.4%	11,322	54.6%	4,446	50.7%	3,777	44.5%	517	53.8%	3,186	50.7%	
	平均年齢		60.0歳		56.5歳		57.1歳		56歳		52.9歳		56.1歳		55.6歳		
	財政負担計						10,632,540千円		4,403,758		4,085,641,047						
	他制度へ	保険料						2,153,586千円 20.3%		963,485 21.9%		938,170,547 23.0%					
		退職拠出金															
		前期調整分					0 0.0%										
		後期支援金					366,849千円 3.5%				212,019,212 5.2%						
	公費	公費						8,351,997千円 78.6%		3,440,273 78.1%		3,147,470,500 77.0%					
		国					17,910千円 0.2%		7,000 0.2%		50,558,970 1.2%						
都道府県						7,625,602千円 71.7%		3,128,840 90.9%		3,002,979,499 73.5%							
市区町村					708,485千円 6.7%		304,433 8.8%		93,932,031 2.3%								
加入者1人あたり所要保険料						103千円		110千円		109千円							
所要保険料率(医療給付分)																	
※一人当たり医療費(医療費/加入者数)		403千円		428千円		422千円		392千円		372千円		418千円		417千円			
入院医療費		845,567千円		1,097,800千円		3,533,239千円		318,965千円		1,300,845千円		154,231千円		1,052,152千円			
医療費がかかる疾患は？	主要疾患別医療費割合	被保険者	1位	関節症	4.3%	虚血性心疾患	3.5%	虚血性心疾患	4.9%	虚血性心疾患	3.8%	その他の悪性新生物	9.7%	虚血性心疾患	8.0%	虚血性心疾患	3.8%
			2位	骨折	3.8%	脳梗塞	3.3%	骨折	3.5%	骨折	2.9%	その他の神経系の疾患	7.8%	パーキンソン病	5.9%	腎不全	3.7%
			3位	脳梗塞	3.2%	気管、気管支、肺の悪性新生物	3.2%	脳梗塞	3.4%	脳梗塞	2.9%	統合失調症、妄想性障害	5.7%	骨折	4.1%	気管、気管支、肺の悪性新生物	3.4%
			4位	気管、気管支、肺の悪性新生物	3.0%	関節症	3.1%	関節症	2.6%	腎不全	2.8%	虚血性心疾患	4.5%	脳梗塞	3.6%	脳梗塞	3.2%
			5位	虚血性心疾患	2.4%	骨折	3.0%	気管、気管支、肺の悪性新生物	2.2%	関節症	2.0%	その他の心疾患	4.0%	気管、気管支、肺の悪性新生物	2.3%	良性新生物及びその他の新生物	3.2%
	被扶養者	1位															
		2位															
		3位															
		4位															
		5位															
外来医療費		868,332千円		1,296,917千円		4,347,156千円		170,890千円		1,622,835千円		200,324千円		1,283,379千円			
中長期目標疾患	主要疾患別医療費割合	被保険者	1位	糖尿病	11.8%	腎不全	11.2%	糖尿病	9.4%	糖尿病	9.8%	糖尿病	8.2%	糖尿病	7.6%	糖尿病	9.7%
			2位	高血圧性疾患	6.9%	糖尿病	10.5%	腎不全	8.8%	腎不全	8.6%	腎不全	7.0%	腎不全	6.7%	腎不全	7.2%
			3位	腎不全	5.5%	高血圧性疾患	6.1%	高血圧性疾患	5.5%	高血圧性疾患	6.2%	その他の悪性新生物	6.4%	高血圧性疾患	6.0%	高血圧性疾患	5.1%
			4位	脂質異常症	4.5%	脂質異常症	3.8%	脂質異常症	4.4%	脂質異常症	4.3%	高血圧性疾患	4.8%	気管、気管支、肺の悪性新生物	5.5%	気管、気管支、肺の悪性新生物	4.2%
			5位	気管、気管支、肺の悪性新生物	2.8%	炎症性多発性関節障害	2.5%	気管、気管支、肺の悪性新生物	3.4%	炎症性多発性関節障害	3.1%	その他の消化器系の疾患	4.6%	脂質異常症	3.6%	脂質異常症	3.5%
	被扶養者	1位															
		2位															
		3位															
		4位															
		5位															
人工透析者数	レセプト件数		費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)	レセプト件数	費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)	レセプト件数	費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)	レセプト件数	費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)
	脳	脳梗塞、脳出血等															
	心臓	狭心症、心筋梗塞等															
	腎臓	慢性腎不全(透析者)															
人工透析者数		人		人		人		人		人		人		人		人	
(内)糖尿病性腎症		人		人		人		人		人		人		人		人	

公的医療保険		内灘町			志賀町			宝達志水町			中能登町			穴水町			能登町			石川県医師国保組合			
特徴																							
保険加入者数 人口比率		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
		4,729人	17.9%	4,538人	22.2%	2,624人	20.7%	3,561人	20.3%	1,830人	20.9%	4,106人	23.3%	2,397人									
被保険者数																							
被扶養者数																							
皆保険制度を支える人とお金	年齢別	65歳未満	2,387	50.5%	1,625	35.8%	967	37.9%	2,366	53.5%	661	36.1%	1,589	38.7%	2,004	83.6%							
		前期高齢者(65-74)	2,342	49.5%	2,913	64.2%	1,657	63.1%	2,060	46.5%	1,169	63.9%	2,517	61.3%	393	16.4%							
	平均年齢		55.2歳			61.6歳			60歳			59.6歳			61.2歳			60.9歳			45.6歳		
	財政負担計		2,399,768千円												23億 254万円								
	他制度へ	保険料		511,305千円						227,312,739円			300,245千円						4億3,185万円 18.8%				
		退職拠出金																					
		前期調整分		-																			
		後期支援金		112,249千円												1億2,239万円 28.3%							
	公費	公費		1,900,470千円												18億7,069万円 81.2%							
		国		30,463千円												274万円 0.1%							
		都道府県		1,803,248千円												16億6,127万円 88.8%							
		市区町村		66,759千円												2億 668万円 11.1%							
	加入者1人あたり所要保険料		107千円						86千円									100千円					
	所要保険料率(医療給付分)																						
	※一人当たり医療費(医療費/加入者数)		404千円			443千円			462千円			420千円			478千円			436千円			186千円		
入院医療費		10.4億円			97,206千円						706,836千円			34,917千円			4.4億円			12,200千円			
医療費がかかる疾患は？	主要疾患別医療費割合	被保険者	1位	その他の悪性新生物	8.4%	関節症	3.9%	統合失調症, 妄想性障害	6.5%	統合失調症, 妄想性障害	5.0%	悪性リンパ腫	6.0%	気管, 気管支, 肺の悪性新生物	7.8%	気管, 気管支, 肺の悪性新生物	9.9%						
			2位	その他の心疾患	5.2%	虚血性心疾患	3.7%	気管, 気管支炎, 肺の悪性新生物	4.3%	脳梗塞	4.4%	脳性麻痺, 麻痺性症候群	4.9%	その他の悪性新生物	7.5%	骨折	7.7%						
			3位	気管・気管支, 肺の悪性新生物	4.9%	脳梗塞	3.7%	脳内出血	2.6%	てんかん	4.0%	気管, 気管支, 肺の悪性新生物	3.9%	その他の神経系の疾患	6.4%	関節症	6.4%						
			4位	脳梗塞	4.8%	骨折	3.2%	気分障害(躁うつ病を含む)	2.1%	骨折	3.8%	虚血性心疾患	2.3%	統合失調症, 妄想性障害	6.3%	虚血性心疾患	2.9%						
			5位	統合失調症, 妄想性障害	2.9%	悪性リンパ腫	2.5%	アルツハイマー病	2.2%	関節症	3.7%	骨折	2.2%	胃の悪性新生物	4.9%	子宮の悪性新生物	2.3%						
	被扶養者	1位																					
		2位																					
		3位																					
		4位																					
		5位																					
外来医療費		7.6億円			93,359千円						714,229千円			39,288千円			3.7億円			257,232千円			
主要疾患別医療費割合	被保険者	1位	糖尿病	8.4%	糖尿病	11.4%	糖尿病	11.2%	糖尿病	11.9%	糖尿病	9.4%	糖尿病	10.5%	腎不全	10.4%							
		2位	腎不全	8.0%	腎不全	7.5%	腎不全	8.9%	腎不全	7.9%	高血圧性疾患	6.0%	その他の悪性新生物	8.8%	白血病	3.4%							
		3位	その他の悪性新生物	6.5%	高血圧性疾患	6.9%	高血圧性疾患	6.3%	高血圧性疾患	5.8%	腎不全	5.9%	脂質異常症	7.2%	脂質異常症	3.3%							
		4位	脂質異常症	5.0%	脂質異常症	4.1%	気管, 気管支炎, 肺の悪性新生物	5.0%	統合失調症, 妄想性障害	5.2%	気管, 気管支, 肺の悪性新生物	5.4%	その他の心疾患	7.0%	糖尿病	3.3%							
		5位	その他の心疾患	4.5%	気管, 気管支, 肺の悪性新生物	3.8%	脂質異常症	3.7%	脂質異常症	4.3%	脂質異常症	4.9%	高血圧性疾患	6.4%	乳房の悪性新生物	3.1%							
	被扶養者	1位																					
		2位																					
		3位																					
		4位																					
		5位																					
中長期目標疾患	レセプト件数		費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)	レセプト件数	費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)	レセプト件数	費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)	レセプト件数	費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)	レセプト件数	費用額	レセプト1件当たり	総医療費に占める割合(%)		
	脳	脳梗塞, 脳出血等																					
	心臓	狭心症, 心筋梗塞等																					
	腎臓	慢性腎不全(透析者)																					
人工透析者数		人			人			人			人			人			人						
(内)糖尿病性腎症		人			人			人			人			人			人						

肥満度分類別 健診受診者有所見者状況

肥満症診療ガイドライン2016に沿って健康障害該当者を見てみました

健診受診者数(a) (227人)		BMI	低体重		普通体重		肥満														
			~18.4		18.5~24.9		25~		再掲1(年代別)				再掲2(肥満度分類別)								
									40-49歳		50-59歳		肥満1度		肥満2度		肥満3度		肥満4度		
									25~29.9		30~34.9		35~39.9		40~						
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
		(b)	(b)/(a)	(c)	(c)/(a)	(d)	(d)/(a)	(e)	(e)/(d)	(f)	(f)/(d)	(e)	(e)/(d)	(f)	(f)/(d)	(g)	(g)/(d)	(h)	(h)/(d)		
該当者		12	5.3%	120	52.9%	95	41.9%	73	76.8%	20	21.1%	73	76.8%	20	21.1%	2	2.1%	0	0.0%		
特定健診結果より	耐糖能障害	空腹時血糖	126以上	0	0.0%	3	1.3%	2	0.9%	1	50.0%	1	50.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
		HbA1c	5.6以上	5	2.2%	69	30.4%	60	26.4%	45	75.0%	14	23.3%	45	75.0%	14	23.3%	1	1.7%	0	0.0%
			再)6.5以上	1	0.4%	10	4.4%	11	4.8%	5	45.5%	5	45.5%	5	45.5%	5	45.5%	1	9.1%	0	0.0%
	脂質異常症	中性脂肪	150以上	2	0.9%	36	15.9%	46	20.3%	32	69.6%	14	30.4%	32	69.6%	14	30.4%	0	0.0%	0	0.0%
		HDL	40未満	0	0.0%	7	3.1%	20	8.8%	16	80.0%	4	20.0%	16	80.0%	4	20.0%	0	0.0%	0	0.0%
		LDL	140以上	4	1.8%	38	16.7%	29	12.8%	22	75.9%	6	20.7%	22	75.9%	6	20.7%	1	3.4%	0	0.0%
	高血圧	収縮期血圧	135以上	1	0.4%	23	10.1%	30	13.2%	21	70.0%	8	26.7%	21	70.0%	8	26.7%	1	3.3%	0	0.0%
		拡張期血圧	85以上	2	0.9%	25	11.0%	32	14.1%	21	65.6%	10	31.3%	21	65.6%	10	31.3%	1	3.1%	0	0.0%
	高尿酸血症・痛風	尿酸	7.1以上	0	0.0%	13	5.7%	28	12.3%	23	82.1%	5	17.9%	23	82.1%	5	17.9%	0	0.0%	0	0.0%
	冠動脈疾患	心電図	異常Q派	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ST上昇			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
ST低下			0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
肝機能異常	AST	31以上	2	0.9%	17	7.5%	26	11.5%	16	61.5%	9	34.6%	16	61.5%	9	34.6%	1	3.8%	0	0.0%	
	ALT	31以上	2	0.9%	23	10.1%	44	19.4%	29	65.9%	14	31.8%	29	65.9%	14	31.8%	1	2.3%	0	0.0%	
		20~30*	4	1.8%	53	23.3%	38	16.7%	33	86.8%	4	10.5%	33	86.8%	4	10.5%	1	2.6%	0	0.0%	
	γ-GT	51以上	2	0.9%	27	11.9%	36	15.9%	30	83.3%	6	16.7%	30	83.3%	6	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	
腎機能障害	尿蛋白	(+)以上	0	0.0%	5	2.2%	9	4.0%	4	44.4%	5	55.6%	4	44.4%	5	55.6%	0	0.0%	0	0.0%	

※予備群: 専門医助言

肥満度分類別 健診受診者有所見者状況

肥満症診療ガイドライン2016に沿って健康障害該当者を見てみました

健診受診者数(a) (278人)		BMI	低体重		普通体重		肥満														
			~18.4		18.5~24.9		25~		再掲1(年代別)				再掲2(肥満度分類別)								
									40-49歳		50-59歳		肥満1度		肥満2度		肥満3度		肥満4度		
									25~29.9		30~34.9		35~39.9		40~						
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
		(b)	(b)/(a)	(c)	(c)/(a)	(d)	(d)/(a)	(e)	(e)/(d)	(f)	(f)/(d)	(e)	(e)/(d)	(f)	(f)/(d)	(g)	(g)/(d)	(h)	(h)/(d)		
該当者		30	10.8%	178	64.0%	70	25.2%	52	74.3%	12	17.1%	52	74.3%	12	17.1%	3	4.3%	3	4.3%		
特定健診結果より	耐糖能障害	空腹時血糖	126以上	0	0.0%	3	1.1%	4	1.4%	3	75.0%	0	0.0%	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%
		HbA1c	5.6以上	13	4.7%	103	37.1%	52	18.7%	37	71.2%	9	17.3%	37	71.2%	9	17.3%	3	5.8%	3	5.8%
	再)6.5以上		0	0.0%	6	2.2%	13	4.7%	9	69.2%	2	15.4%	9	69.2%	2	15.4%	0	0.0%	2	15.4%	
脂質異常症	中性脂肪	150以上	1	0.4%	28	10.1%	24	8.6%	17	70.8%	6	25.0%	17	70.8%	6	25.0%	1	4.2%	0	0.0%	
	HDL	40未満	0	0.0%	1	0.4%	1	0.4%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	LDL	140以上	7	2.5%	53	19.1%	24	8.6%	21	87.5%	3	12.5%	21	87.5%	3	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	
高血圧	収縮期血圧	135以上	7	2.5%	28	10.1%	35	12.6%	24	68.6%	7	20.0%	24	68.6%	7	20.0%	3	8.6%	1	2.9%	
	拡張期血圧	85以上	5	1.8%	23	8.3%	21	7.6%	11	52.4%	6	28.6%	11	52.4%	6	28.6%	3	14.3%	1	4.8%	
高尿酸血症・痛風	尿酸	7.1以上	0	0.0%	3	1.1%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	
冠動脈疾患	心電図	異常Q派	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		ST上昇	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
		ST低下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
肝機能異常	AST	31以上	2	0.7%	12	4.3%	10	3.6%	5	50.0%	2	20.0%	5	50.0%	2	20.0%	2	20.0%	1	10.0%	
	ALT	31以上	2	0.7%	19	6.8%	22	7.9%	13	59.1%	4	18.2%	13	59.1%	4	18.2%	3	13.6%	2	9.1%	
		20~30*	2	0.7%	43	15.5%	19	6.8%	14	73.7%	5	26.3%	14	73.7%	5	26.3%	0	0.0%	0	0.0%	
	γ-GT	51以上	1	0.4%	18	6.5%	16	5.8%	11	68.8%	4	25.0%	11	68.8%	4	25.0%	1	6.3%	0	0.0%	
腎機能障害	尿蛋白	(+)以上	0	0.0%	4	1.4%	3	1.1%	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	

※予備群:専門医助言

肥満度分類別 健診受診者有所見者状況

保険者名_肥満度分類別有所見65-74男性

肥満症診療ガイドライン2016に沿って健康障害該当者を見ました

健診受診者数(a) (730人)		BMI	低体重		普通体重		肥満										
			~18.4		18.5~24.9		25~		再掲								
			肥満1度		肥満2度		肥満3度		肥満4度								
			25~29.9		30~34.9		35~39.9		40~								
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
		(b)	(b)/(a)	(c)	(c)/(a)	(d)	(d)/(a)	(e)	(e)/(d)	(f)	(f)/(d)	(g)	(g)/(d)	(h)	(h)/(d)		
該当者		27	3.7%	452	61.9%	251	34.4%	229	91.2%	20	8.0%	2	0.8%	0	0.0%		
特定健診結果より	耐糖能障害	空腹時血糖	126以上	1	0.1%	16	2.2%	9	1.2%	8	88.9%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%
		HbA1c	5.6以上	20	2.7%	305	41.8%	197	27.0%	177	89.8%	18	9.1%	2	1.0%	0	0.0%
			再)6.5以上	4	0.5%	76	10.4%	53	7.3%	48	90.6%	4	7.5%	1	1.9%	0	0.0%
	脂質異常症	中性脂肪	150以上	3	0.4%	141	19.3%	122	16.7%	113	92.6%	9	7.4%	0	0.0%	0	0.0%
		HDL	40未満	2	0.3%	38	5.2%	29	4.0%	27	93.1%	1	3.4%	1	3.4%	0	0.0%
		LDL	140以上	6	0.8%	79	10.8%	46	6.3%	42	91.3%	4	8.7%	0	0.0%	0	0.0%
	高血圧	収縮期血圧	135以上	7	1.0%	214	29.3%	131	17.9%	117	89.3%	12	9.2%	2	1.5%	0	0.0%
		拡張期血圧	85以上	6	0.8%	76	10.4%	66	9.0%	56	84.8%	8	12.1%	2	3.0%	0	0.0%
	高尿酸血症・痛風	尿酸	7.1以上	0	0.0%	43	5.9%	41	5.6%	36	87.8%	4	9.8%	1	2.4%	0	0.0%
	冠動脈疾患	心電図	異常Q派	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
			ST上昇	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
			ST低下	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	肝機能異常	AST	31以上	7	1.0%	90	12.3%	79	10.8%	67	84.8%	10	12.7%	2	2.5%	0	0.0%
		ALT	31以上	3	0.4%	79	10.8%	97	13.3%	84	86.6%	11	11.3%	2	2.1%	0	0.0%
			20~30※	4	0.5%	147	20.1%	88	12.1%	82	93.2%	6	6.8%	0	0.0%	0	0.0%
	γ-GT	51以上	5	0.7%	120	16.4%	87	11.9%	78	89.7%	8	9.2%	1	1.1%	0	0.0%	
腎機能障害	尿蛋白	(+)以上	3	0.4%	31	4.2%	33	4.5%	26	78.8%	5	15.2%	2	6.1%	0	0.0%	

※予備群:専門医助言

肥満度分類別 健診受診者有所見者状況

保険者名_肥満度分類別有所見65-74女性

肥満症診療ガイドライン2016に沿って健康障害該当者を見ました

健診受診者数(a) (1015人)		BMI	低体重		普通体重		肥満											
			~18.4		18.5~24.9		25~		再掲(肥満度分類別)									
			人数		割合		人数		割合		肥満1度		肥満2度		肥満3度		肥満4度	
			(b)	(b)/(a)	(c)	(c)/(a)	(d)	(d)/(a)	(e)	(e)/(d)	(f)	(f)/(d)	(g)	(g)/(d)	(h)	(h)/(d)		
該当者			72	7.1%	674	66.4%	269	26.5%	227	84.4%	39	14.5%	3	1.1%	0	0.0%		
特定健診結果より	耐糖能障害	空腹時血糖	126以上	3	0.3%	12	1.2%	11	1.1%	7	63.6%	3	27.3%	1	9.1%	0	0.0%	
		HbA1c	5.6以上	50	4.9%	468	46.1%	206	20.3%	167	81.1%	37	18.0%	2	1.0%	0	0.0%	
			再)6.5以上	10	1.0%	60	5.9%	46	4.5%	34	73.9%	11	23.9%	1	2.2%	0	0.0%	
	脂質異常症	中性脂肪	150以上	7	0.7%	148	14.6%	101	10.0%	86	85.1%	13	12.9%	2	2.0%	0	0.0%	
		HDL	40未満	0	0.0%	19	1.9%	8	0.8%	5	62.5%	3	37.5%	0	0.0%	0	0.0%	
		LDL	140以上	10	1.0%	174	17.1%	59	5.8%	54	91.5%	5	8.5%	0	0.0%	0	0.0%	
	高血圧	収縮期血圧	135以上	23	2.3%	283	27.9%	142	14.0%	112	78.9%	29	20.4%	1	0.7%	0	0.0%	
		拡張期血圧	85以上	6	0.6%	113	11.1%	52	5.1%	42	80.8%	10	19.2%	0	0.0%	0	0.0%	
	高尿酸血症・痛風	尿酸	7.1以上	1	0.1%	11	1.1%	9	0.9%	8	88.9%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	
	冠動脈疾患	心電図	異常Q派		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ST上昇				0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
ST低下				0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
肝機能異常	AST	31以上	9	0.9%	59	5.8%	43	4.2%	31	72.1%	9	20.9%	3	7.0%	0	0.0%		
	ALT	31以上	2	0.2%	50	4.9%	60	5.9%	45	75.0%	12	20.0%	3	5.0%	0	0.0%		
		20~30※	24	2.4%	181	17.8%	89	8.8%	73	82.0%	16	18.0%	0	0.0%	0	0.0%		
	γ-GT	51以上	5	0.5%	52	5.1%	33	3.3%	24	72.7%	6	18.2%	3	9.1%	0	0.0%		
腎機能障害	尿蛋白	(+)以上	3	0.3%	22	2.2%	20	2.0%	13	65.0%	6	30.0%	1	5.0%	0	0.0%		

※予備群:専門医助言

健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025に係る調査

調査票

保険者名					
担当者名					
連絡先電話番号					
特定保健指導の 民間委託の有無	委託事業所名※	令和3年度 実績	評価の有無 (改善率の確認など)	特定保健指導以外 の保健事業の委託 の有無	内容 (有の場合、その内容を記入ください。)
有・無		件	有・無	有・無	
		件	有・無	有・無	
		件	有・無	有・無	
		件	有・無	有・無	
		件	有・無	有・無	
		件	有・無	有・無	

※委託事業所が複数ある場合、委託事業所毎に記入をお願いします。

健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025

2021年12月版

宣言1

◆ 地域づくり・まちづくりを通じて、生活していく中で健康でいられる環境整備に取り組む自治体を1,500市町村以上とする。

宣言2

◆ 47都道府県全てにおいて、保険者協議会を通じて、加入者及び医療者と一緒に予防・健康づくりの活動に取り組む。

宣言3

◆ 保険者とともに健康経営に取り組む企業等を10万社以上とする。

宣言4

◆ 加入者や企業への予防・健康づくりや健康保険の大切さについて学ぶ場の提供、及び
上手な医療のかかり方を広める活動に取り組む、保険者を2,000保険者以上とする。

宣言5

◆ 感染症の不安と共存する社会において、デジタル技術を活用した生涯を通じた新しい予防・健康づくりに取り組む
保険者を2,500保険者以上、医療機関・薬局を20万施設以上とする。

宣言 2

47都道府県全てにおいて、保険者協議会を通じて、加入者及び医療者と一緒に予防・健康づくりの活動に取り組む。

【達成要件】

次の①、②について、行われていること。

- ① 下記の具体的な取組 i) ～ vi) を、すべて実施すること。また、具体的な取組 vii) 及び viii) の中から、一つ以上実施すること。
- ② iv)、v) の取組に関する効果検証を行うこと。

具体的な取組

- i) 特定健診・保健指導の実施率向上に向けて、実施率の高い保険者の取組例の共有や、保険者共同での広報活動を行っていること。
- ii) 集合契約の連絡調整に加えて、被用者保険の被扶養者向け健診と自治体のがん検診等の同時実施や、保険者でのがん検診等の実施など、健診の魅力を高めるための保険者と医療関係者との連絡調整を広く行っていること。
- iii) 被用者保険の特定健診と国保・市町村の住民健診の共同実施など、都道府県内の保険者共同での健診実施や、保険者間での健診実施の委託契約の締結に向けて、保険者協議会が連絡調整や支援をしていること。
- iv) 加入者のレセプトデータや特定健診・事業主健診データ、利用者属性等を分析して、保険者による地域・職域の予防・健康づくりの取組に貢献すること。
- v) 都道府県医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会等とともに加入者の健康に関連した社会的課題の把握に取り組んでいること。
- vi) 保険者が民間委託している保健事業について、成果指標の目標と実績を共有する場を設けていること。
- vii) 所在地以外に住む加入者や被扶養者等が保健事業に参加しやすい環境づくりを進めるため、特定健診・保健指導以外の保健事業を共同で実施する集合契約を保険者協議会が連絡調整や支援をしていること。
- viii) 都道府県と連携して、地域版日本健康会議を開催すること。

宣言対比表

「健康なまち・職場づくり宣言2020」（8つの宣言）

2020状況

宣言 1	予防・健康づくりについて、一般住民を対象としたインセンティブを推進する自治体を800市町村以上とする。	1,024 (市町村)
宣言 2	かかりつけ医等と連携して生活習慣病の重症化予防に取り組む自治体を1500市町村、広域連合を47団体以上とする。その際、糖尿病対策推進会議等の活用を図る。 * 2019年度より目標を800から1500市町村に、24から47広域連合に上方修正	1,292 (市町村) 45 (広域連合)
宣言 3	予防・健康づくりに向けて、47都道府県の保険者協議会すべてが地域と職域が連携した予防に関する活動を実施する。	47 (協議会)
宣言 4	健保組合等保険者と連携して健康経営に取り組む企業を500社以上とする。	1,476 (法人)
宣言 5	協会けんぽ等保険者や商工会議所等のサポートを得て健康宣言等に取り組む企業を3万社以上とする。* 2018年度より目標を1万社から3万社に上方修正	51,126 (社)
宣言 6	加入者自身の健康・医療情報を本人に分かりやすく提供する保険者を原則100%とする。その際、情報通信技術（ICT）等の活用を図る。	2,325 (保険者)
宣言 7	予防・健康づくりの企画・実施を提供する事業者の質・量の向上のため、認証・評価の仕組みの構築も視野に、保険者からの推薦等一定の基準を満たすヘルスケア事業者を100社以上とする。	124 (社)
宣言 8	品質確保・安定供給を国に求めつつ、すべての保険者が後発医薬品の利用勧奨など、使用割合を高める取組を行う。	995 (保険者)

「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」

宣言 1	地域づくり・まちづくり を通じて、生活していく中で健康でいられる環境整備に取り組む自治体を1,500市町村以上とする。 ※旧宣言 1, 2 を踏襲・発展
宣言 2	47都道府県全てにおいて、 保険者協議会 を通じて、加入者及び医療者と一緒に予防・健康づくりの活動に取り組む。 ※旧宣言 3 を踏襲・発展
宣言 3	保険者とともに 健康経営 に取り組む企業等を10万社以上とする。 ※旧宣言 4, 5, 7 を踏襲・発展
宣言 4	加入者や企業への予防・健康づくりや健康保険の大切さについて 学ぶ場の提供 、及び 上手な医療のかかり方 を広める活動に取り組む、保険者を2,000保険者以上とする。 ※旧宣言 1, 2, 6, 8 を踏襲・発展
宣言 5	感染症の不安と共存する社会において、 デジタル技術 を活用した生涯を通じた新しい予防・健康づくりに取り組む保険者を2,500保険者以上、医療機関・薬局を20万施設以上とする。 ※旧宣言 6 を踏襲・発展

石川県循環器対策推進計画の概要について

1 計画策定の趣旨

- 脳卒中・心臓病その他の循環器病は、死亡や介護の主な原因となっており、県民の生命や健康にとって大きな問題となっている。
- このため、循環器病対策基本法(R1.12施行)及び国の循環器病対策推進基本計画(R2.10策定)を踏まえ、循環器病の予防等の循環器病対策を総合的かつ計画的に推進する。

本県の循環器病に関する状況

【死因別死亡割合】(R2人口動態統計)	
心疾患(高血圧性を除く)	14.9%
脳血管疾患	8.0%
【介護を要する状態となった主要原因】(H29県長寿社会課調)	
脳血管疾患	11.0%
心疾患	6.5%
循環器系の疾患	5.2%
} 約2割	

2 計画の位置づけ

健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病にかかる対策に関する基本法に基づく県の循環器病対策推進計画であり、「石川県医療計画」、「いしかわ健康フロンティア戦略」等の関連施策との整合性を図るものとする。

3 計画期間

令和4年度(2022年度)から令和5年度(2023年度)

【循環器病とは】～循環器病対策推進基本計画(令和2年10月)より抜粋～
 虚血性脳卒中(脳梗塞)、出血性脳卒中(脳内出血、くも膜下出血など)、一過性脳虚血発作、
 虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞など)、心不全、不整脈、
 弁膜症(大動脈弁狭窄症、僧帽弁逆流症など)、大動脈疾患(大動脈解離、大動脈瘤など)、
 末梢血管疾患、肺血栓塞栓症、肺高血圧症、心筋症、先天性心・脳血管疾患、遺伝性疾患等

4 全体目標

(1) 循環器病の発症の減少

当面は、下記の指標を参考とします。

【参考指標】

- ・脳血管疾患、心疾患の受療率
- ・急性期治療を行った脳血管疾患患者数
- ・心血管疾患の入院患者数
- ・一次脳卒中センターにおける急性期脳血管疾患新規患者数

(2) 循環器病の年齢調整死亡率の減少

【現状(H27)】

脳血管疾患年齢調整死亡率(人口10万対)
 男性36.0(全国37.8) 女性21.9(全国21.0)
 心疾患年齢調整死亡率(人口10万対)
 男性60.1(全国65.4) 女性32.9(全国34.2)
 【再掲】虚血性心疾患年齢調整死亡率(人口10万対)
 男性25.9(全国31.3) 女性9.5(全国11.8)

(3) 健康寿命の延伸

【現状(R1)】

健康寿命
 男性73.08歳(全国72.68歳)
 女性75.90歳(全国75.38歳)

5 個別施策(施策の方向性)

(1) 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

① 循環器病の危険因子に関する普及啓発

危険因子(生活習慣病)の発現予防のため、減塩、禁煙、節酒、身体活動量の増加、歯・口腔の健康など適切な生活習慣について普及啓発

② 循環器病の発症予防・重症化予防に関する普及啓発

危険因子の適切な管理(適切な治療、治療の継続)や生活習慣の改善の重要性について普及啓発

(2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進

特定健康診査、歯科健診の受診勧奨、特定保健指導の推進

② 救急搬送体制の整備

AEDの使用を含めた発症時の対処法の普及啓発
 発症後の迅速かつ適切な搬送体制の整備

③ 切れ目のない医療提供体制の構築

急性期から回復期・維持期、在宅医療までの連携体制の推進
 病期に応じた必要な人材の養成等

④ 在宅療養に向けた体制整備

地域連携クリティカルパスの活用などによる連携
 心不全療養指導士の取得促進等

⑤ 緩和ケアの提供体制の充実

患者の状態に応じた適切な緩和ケアの推進
 認定看護師等、専門的知識を有する医療従事者の育成促進や
 資質向上に係る取組を推進等

(3) 患者等を支えるための環境づくり

① 適切な情報提供、社会連携に基づく相談支援

必要な保健、医療、福祉サービス等の情報提供
 医療機関、市町、地域包括支援センター等の関係機関が
 連携・協力した相談支援体制の推進

② 循環器病の後遺症を有する者に対する支援

相談支援の実施、後遺症に関する理解の促進

③ 仕事と治療の両立支援、就労支援

関係者間の情報共有、事業所の理解の推進

④ 小児・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

小児期から成人期にかけて必要な医療を切れ目なく
 提供できる体制を検討

6 循環器病対策推進のための必要事項

- ① 循環器病対策推進計画の推進体制と役割
- ② 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対策
- ③ 循環器病の研究の促進
- ④ 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

地域と職域の保険者が連携して健康づくりに取り組む

■開催場所：石川厚生年金会館
H17年(6月13日)

石川県保険者協議会 設立総会開催



6月13日(月)石川厚生年金会館において、石川県保険者協議会設立総会が開催された。本協議会は健康保険組合、政府管掌健康保険、国民健康保険の各医療保険者が共通認識を持ち、行政や医療関係者等の協力を得ながら、生活習慣の改善等から健康づくりの推進を図ることとしている。

協議事項

協議に入り、事務局から保険者協議会運営規程の説明があり、保険者協議会で検討を行うものとして、①保健事業等の共同実施、②保険者間における意見調整及び関係団体との連絡調整に関すること、③保健事業、医療費データ等に関する情報の収集・提供、④その他、協議会の目的を達成するために必要な事項に関すること以上の事項が確認された。続いて、協議会における事業の具体的実施の検討を行う、作業部会の運営要領の説明があり、その後、協議会会長・副会長・監事を選出、協議会の会長には石川県国民健康保険団体連合会・柏木常務理事が、副会長には健康保険組合連合会石川連合会・平村事務局長、石川社会保険事務局・長谷川次長の2名、監事には、金沢市・南保険年金課長が選出された。その後、平成17年度事業計画及び予算、作業部会付託事項について国保連合会事務局より説明があり原案通り承認された。

今後に向けて

次に各保険者より今年度の事業実施状況について報告があり、梅田医師会会長から「全国的に糖尿病の治療及び予防の推進ということで事業の展開を予定している。予防医学を徹底することによって医療費削減の必要性は十分に考えている」と助言があった。最後に柏木会長より今後の協力のお願ひがあり、設立総会を終了した。



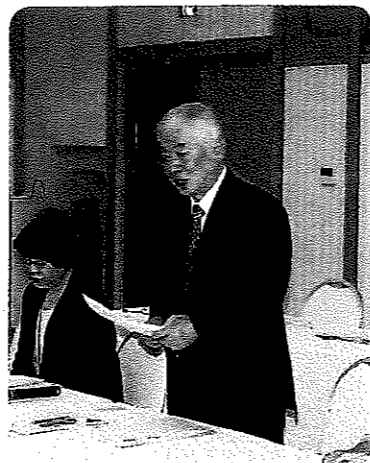
はじめに

開会に先立ち、協議会の事務局である石川県国民健康保険団体連合会・柏木常務理事が「生活習慣病によって死亡する方が全国の死亡原因の約6割を超えようになり、今までのようにただ画一的な生活習慣病対策、保健事業を実施するのではなく、個々の保険者の特性を踏まえ、互いに連携し、保健事業を実施することが重要になってきている。」と挨拶を述べた。

来賓として、厚生労働省保険局・今別府敏雄保険課長が「平成15年3月の基本方針として、保険者を都道府県単位に見据えて整備するということと保険者の保健機能の強化ということで、国民健康保険の改革をいたしました。また、来年の医療保険改正に向けて調整しておりますが、保険者協議会関連として医療費を適正化するための計画を県単位で作成すること、健診後の事後指導が肝心という保健計画

が新しい流れになる。」と祝辞を述べられた。

また、続いて石川県・木村博承健康福祉部長、関係団体を代表して石川県医師会・梅田俊彦会長が祝辞を述べた。



石川県保険者協議会委員名簿

任期/平成17年6月13日~平成19年3月31日

区分	所属	職名	氏名	備考
健康保険組合連合会支部等	健康保険組合連合会石川連合会	事務局長	平村 勇	副会長
	北陸情報産業健康保険組合	常務理事	吉岡 崇雄	
	北國銀行健康保険組合	常務理事	石崎 章	
政府管掌健康保険	石川社会保険事務局	次長	長谷川 登則	副会長
	石川社会保険事務局	保険課長	斉藤 隆	
	石川社会保険事務局	保険給付指導官	長 富巳子	
国民健康保険	金 沢 市	保険年金課長	南 善史	監 事
	七 尾 市	保険課長	田 縁 寛志	
	能 美 市	保険年金課長	西 田 孝喜	
	宝 達 志 水 町	健康福祉課長	柏 崎 三代治	
国民健康保険団体連合会	石川県医師国民健康保険組合	事務長	宮 下 正輝	
	石川県国民健康保険団体連合会	常務理事	柏 木 清勝	会 長